

平成22年度 市民意識調査報告書

平成23年1月

堺市

はじめに

本市が将来にわたり、持続的に発展するための今後のまちづくりの基本指針となる堺市マスタープランの策定に取り組むに際して、堺のまちをより良くしていくための評価指標を定めるために本調査を行いました。

この調査では、20歳以上の市民10,000人を対象に、生活における日常の行動や意識などについてお聴きしました。

これらの調査結果は、今後の市政運営のための貴重な資料として、堺市マスタープランの策定に活かすとともに、市政各般の推進に活用してまいります。

終わりに、調査にご協力いただきました市民の皆さまをはじめ、関係団体の方々に厚く御礼申し上げます。

平成23年1月

堺市長 竹山 修身

<目次>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
（1）調査対象	1
（2）調査方法	1
（3）調査期間	1
（4）回収結果	1
（5）調査項目	2
3. 報告書の見方	3
II. 回答者の基本属性	4
1. 居住地	4
2. 性別	4
3. 年代	5
4. 家族構成	6
5. 同居家族	6
6. 職業	6
7. 勤務地・通学地	7
8. 住宅の所有形態	7
9. 居住年数	7
III. 調査結果	8
1-1. 日常生活の主要な活動・行動について	8
1-2. 日常生活の活動・行動について	10
2. 日常生活に関する意識について	23
3. 日常生活の行動と意識の関連性について	36
4. 日常生活の行動・意識と幸福度の関連性について	43
IV. 調査の精度	50

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、今後のまちづくりの基本指針となる堺市マスタープランの策定にあたり、市民の視点から、どれだけ堺のまちが良くなったかを計る指標として、生活における日常の行動や意識などについて把握するために実施した。

2. 実施概要

(1) 調査対象

平成22年5月時点で20歳以上の市民から区別人口比、性比を考慮し、10,000人を無作為に抽出した。

(2) 調査方法

郵送による発送・回収を行った。また、調査期間中に、調査対象者全員に協力依頼はがきを送付した。

(3) 調査期間

平成22年7月7日～平成22年7月30日

(平成22年7月7日発送、回答期限：平成22年7月21日)

(4) 回収結果

発送数	未着数	実発送数	有効回答数	有効回答率
10,000	58	9,942	5,528	55.6%

(5) 調査項目

調査項目は、以下のとおりである。

設問 番号	内容	設問項目	
1-1	日常生活の中で、以下のような活動・行動をされていますか。	外出機会の程度	
		芸術鑑賞機会の程度	
		地元商店利用機会の程度	
		自家用車利用機会の程度	
		公共交通利用機会の程度	
		避難所認知の程度	
1-2	あなたは日常生活の中で、以下の項目をどの程度行って（または心がけて）いますか。	①	暮らしの安全・安心に関する行動について
		②	暮らしの質に関する行動について
		③	子育て・教育に関する行動について
		④	地域の産業振興に関する行動について
		⑤	環境との共生に関する行動について
		⑥	まちの魅力や交流に関する行動について
		⑦	地域のまちづくりに関する行動について
2	あなたは日常生活の中で、以下の項目について、どのように思われますか。	①	暮らしの安全・安心について
		②	暮らしの質について
		③	子育て・教育について
		④	地域の産業振興について
		⑤	環境との共生について
		⑥	まちの魅力や交流について
		⑦	地域のまちづくりについて

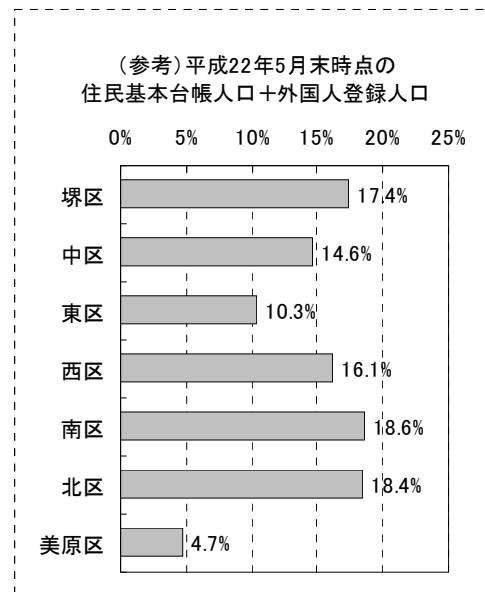
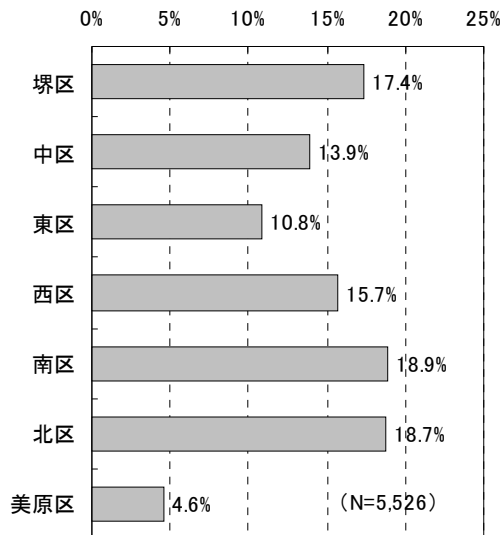
3. 報告書の見方

- (1) 集計対象件数は5,528件である。
- (2) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 各設問に対する無回答は集計から省いた。
- (4) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0%」と示している。
- (5) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

II. 回答者の基本属性

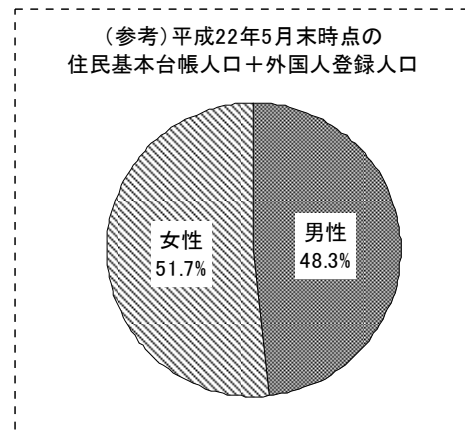
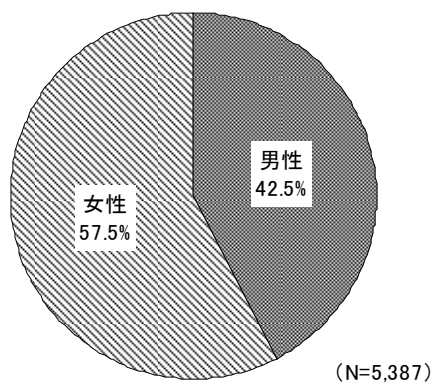
1. 居住地域

図表 II-1 居住地域



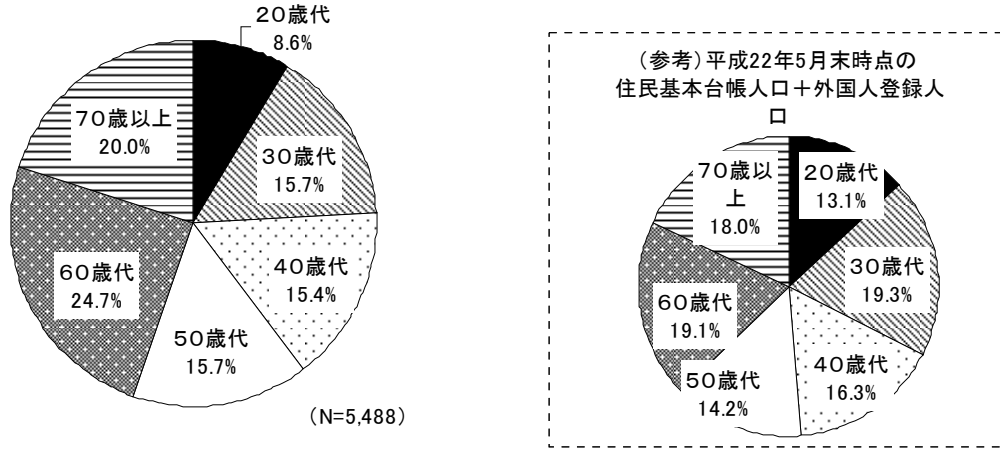
2. 性別

図表 II-2 性別



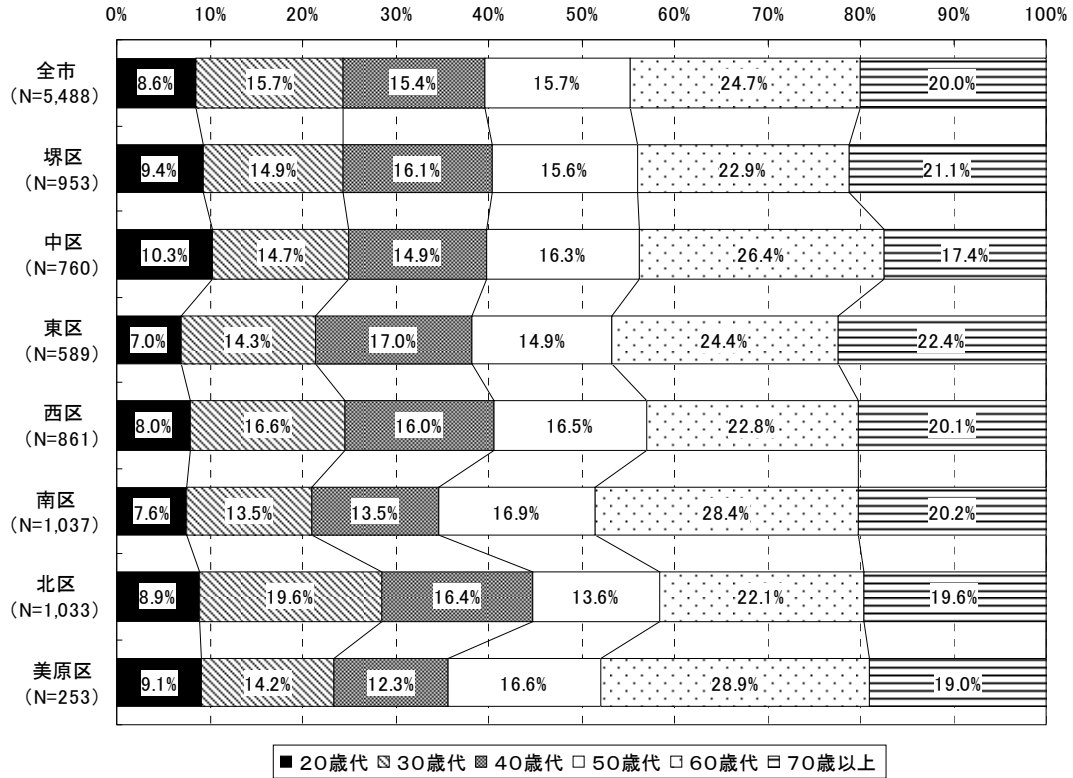
3. 年代

図表 II-3 年代



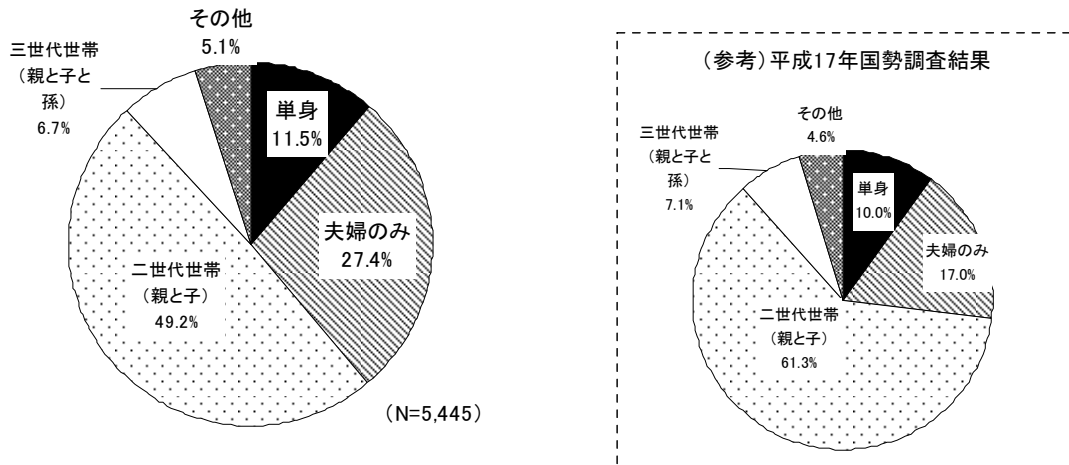
<区域別>

図表 II-4 区域別 年代



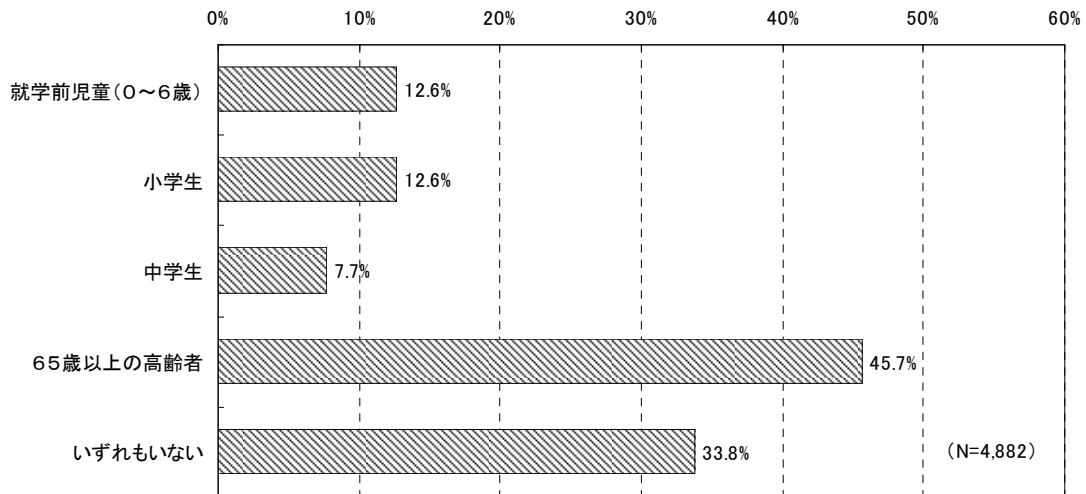
4. 家族構成

図表 II-4 家族構成



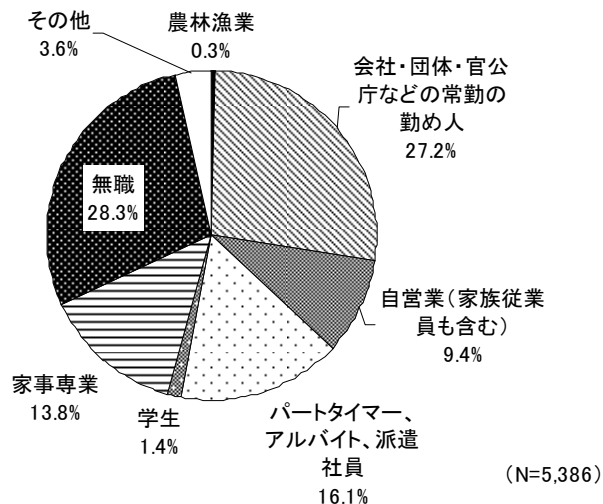
5. 同居家族

図表 II-6 同居家族



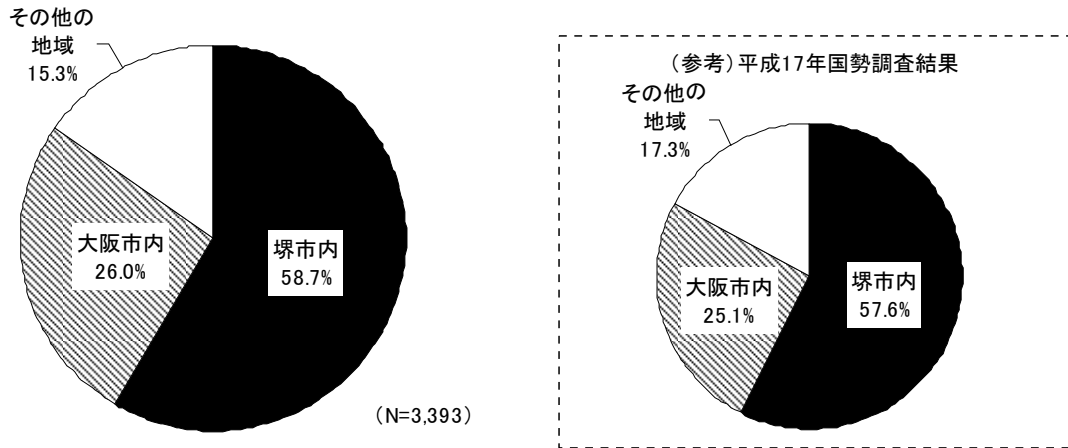
6. 職業

図表 II-7 職業



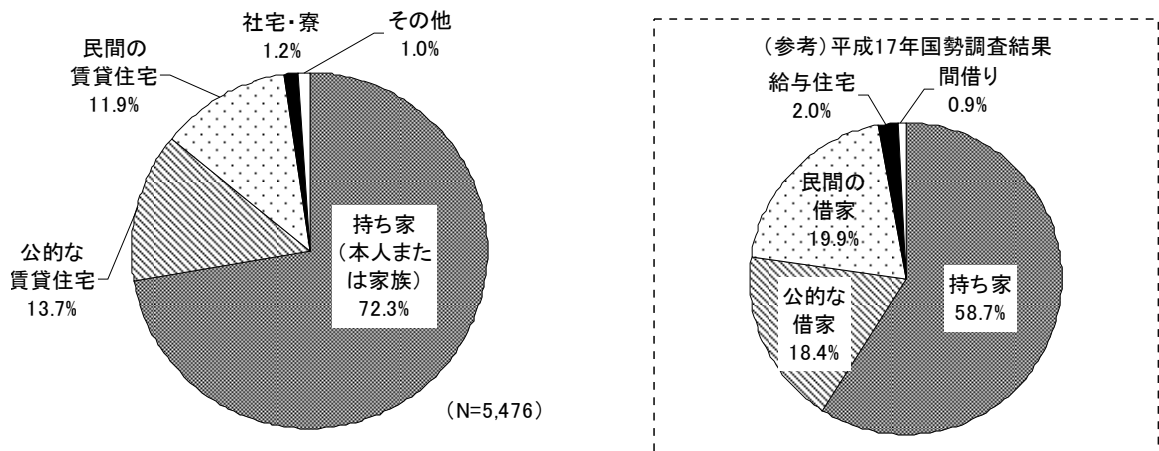
7. 勤務地・通学地

図表 II-8 勤務地または通学地



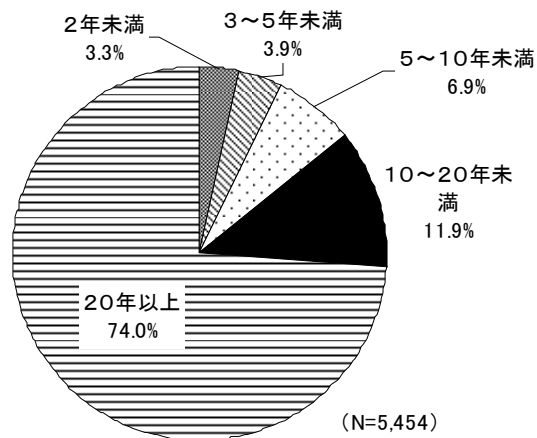
8. 住宅の所有形態

図表 II-9 住宅の所有形態



9. 居住年数

図表 II-10 居住年数



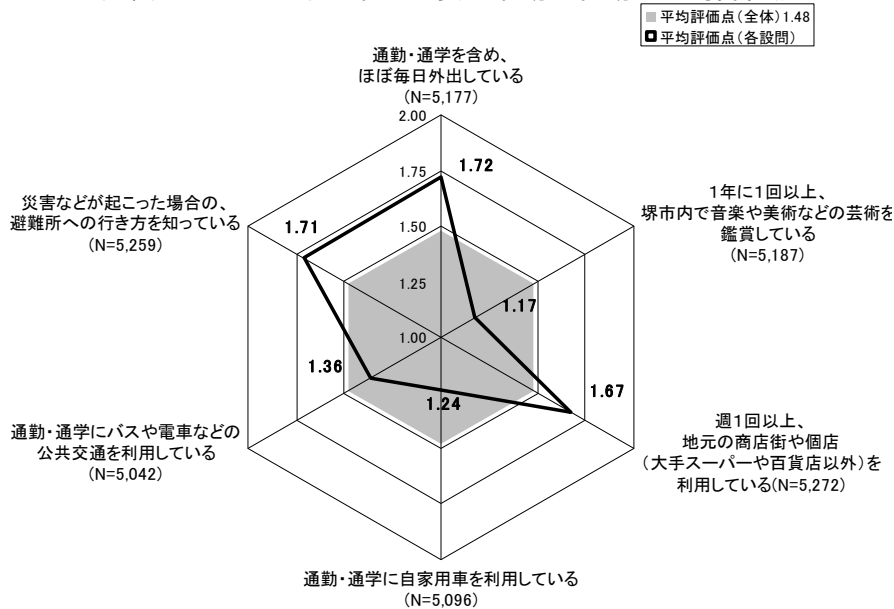
Ⅲ. 調査結果の分析

1-1. 日常生活の主要な活動・行動について

【分析の趣旨】

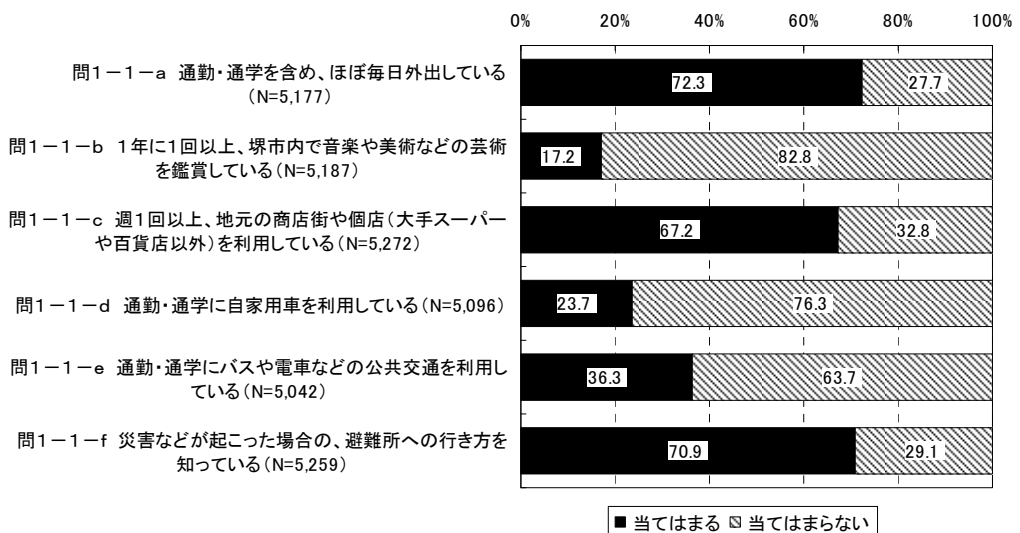
- ・ 6項目について平均評価点を求め傾向を分析している。
- ・ 平均評価点が高いほど、活動や行動が活発に行われ、平均評価点が低いほど、活動や行動が不活発であることを表す。

図表 Ⅲ-1 日常生活の主要な活動・行動 平均評価点



(注)個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求めた。
 「(活動・行動が)当てはまる」 2点
 「(活動・行動が)当てはまらない」 1点

図表 Ⅲ-2 日常生活の主要な活動・行動傾向



【分析コメント】

- ・「ほぼ毎日外出している」「週1回以上地元の商店街や個店を利用している」「災害などが起こった場合の避難所への行き方を知っている」市民の割合は、平均以上となっている。
- ・一方、特に「1年に1回以上、堺市内で音楽や美術などの芸術を鑑賞している」市民の割合は低くなっている。
- ・通勤・通学時に利用する交通機関は、公共交通利用が自家用車利用よりもやや高い割合となっている。

1-2. 日常生活の活動・行動について

【分析の趣旨】

- ・ 7政策37項目について平均評価点を求め傾向を分析している。
- ・ 平均評価点が高いほど、活動や行動が活発に行われ、平均評価点が高いほど、活動や行動が不活発であることを表す。

< 7政策 >

- ①暮らしの安全・安心 ②暮らしの質 ③子育て・教育 ④地域の産業振興
- ⑤環境との共生 ⑥まちの魅力や交流 ⑦地域のまちづくり

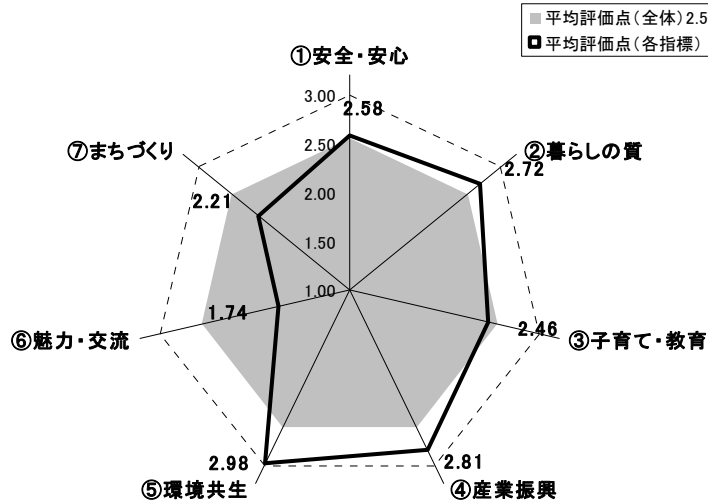
< 行動指標ごとの平均評価点の考え方 >

個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求め、7政策ごとにまとめて平均を求めた。

「積極的に行っている（心がけている）」	4点
「ある程度行っている（心がけている）」	3点
「ほとんど行っていない（心がけていない）」	2点
「全く行っていない（心がけていない）」	1点

図表 III-3 日常生活の活動・行動 政策別平均評価点（全市）

【全市】 日常生活の活動・行動 平均評価点



(注)個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求めた。
 「積極的に行っている(心がけている)」 4点 「ある程度行っている(心がけている)」 3点
 「ほとんど行っていない(心がけていない)」 2点 「全く行っていない(心がけていない)」 1点

【分析コメント】

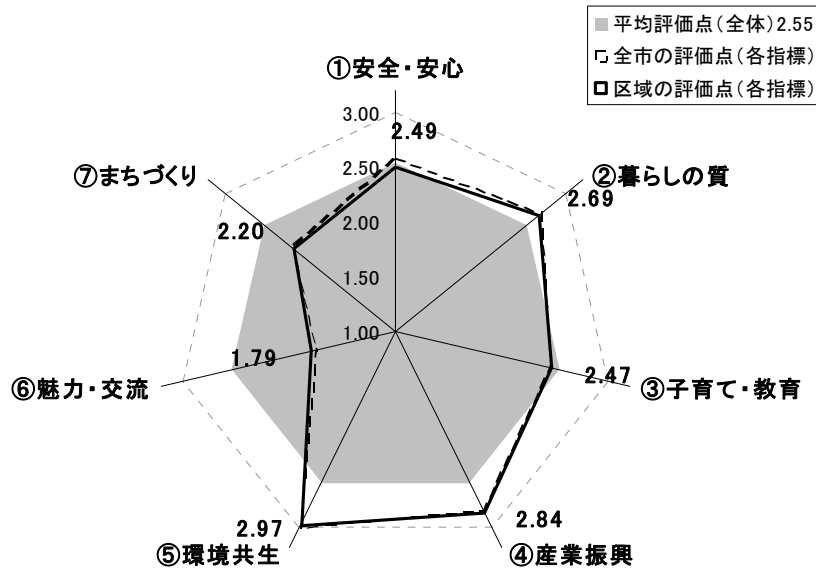
- ・「環境共生」に関する活動・行動は非常に活発に行われている。
- ・「魅力・交流」や「まちづくり」に関する活動・行動が低い傾向にある。

- ・ 7政策37項目の平均評価点は平均2.55。
- ・ 「暮らしの質 (2.72)」、「産業振興 (2.81)」、「環境共生 (2.98)」は平均評価点以上で、活動・行動が高い傾向にある。特に「環境共生」の活動・行動の高さは顕著である。
- ・ 一方で、「魅力・交流 (1.74)」、「まちづくり (2.21)」は平均評価点以下で、活動・行動が低い傾向にある。特に「魅力・交流」の活動・行動の低さは顕著である。
- ・ 「安心・安全 (2.58)」、「子育て・教育 (2.46)」は、平均評価点と同等程度の活動・行動傾向である。

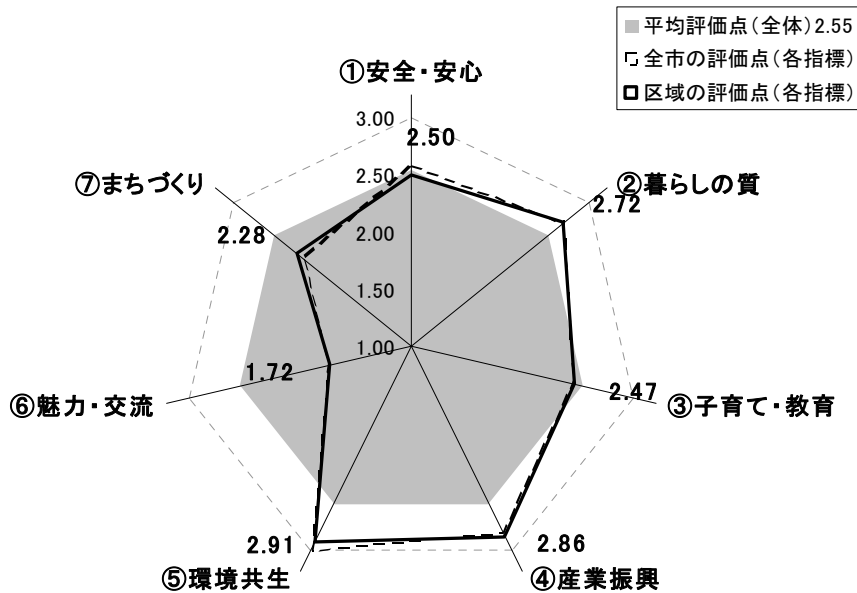
● 区域別

図表 Ⅲ-4 日常生活の活動・行動 政策別平均評価点（区域別）

【堺区】 日常生活の活動・行動 平均評価点

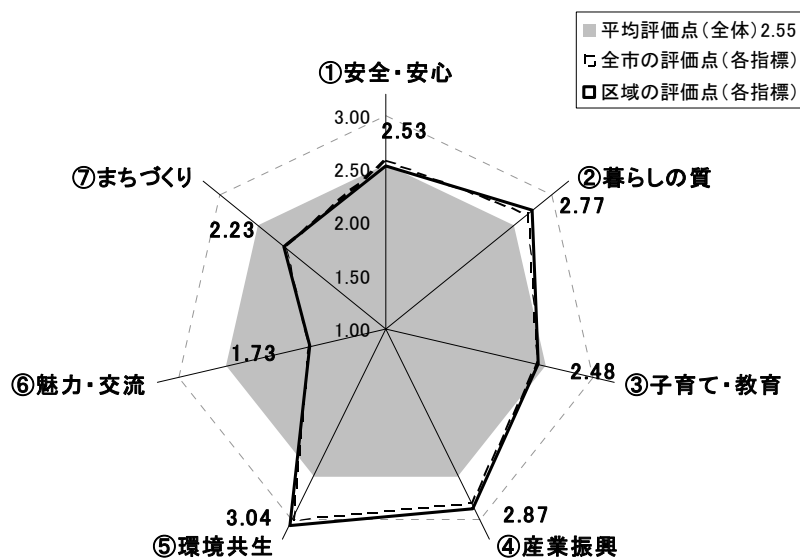


【中区】 日常生活の活動・行動 平均評価点

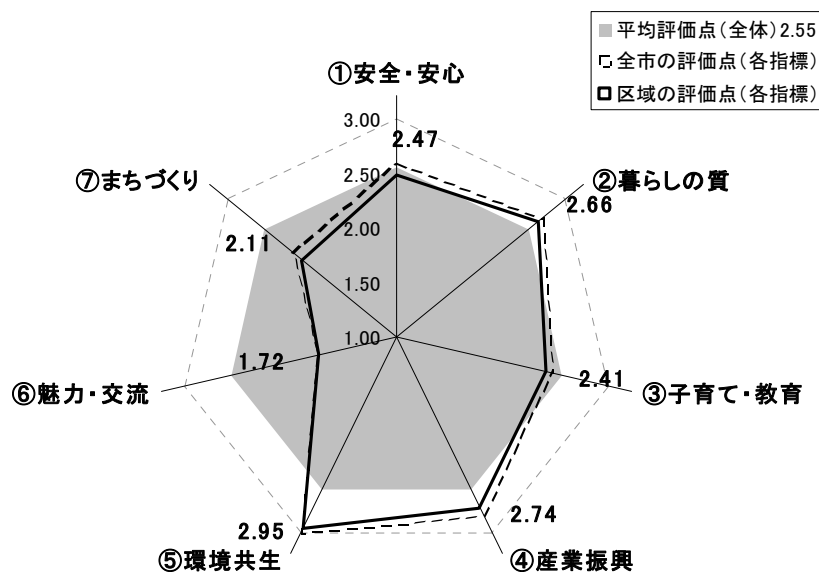


(注) 個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求めた。
「積極的に行っている(心がけている)」 4点 「ある程度行っている(心がけている)」 3点
「ほとんど行っていない(心がけていない)」 2点 「全く行っていない(心がけていない)」 1点

【東区】 日常生活の活動・行動 平均評価点

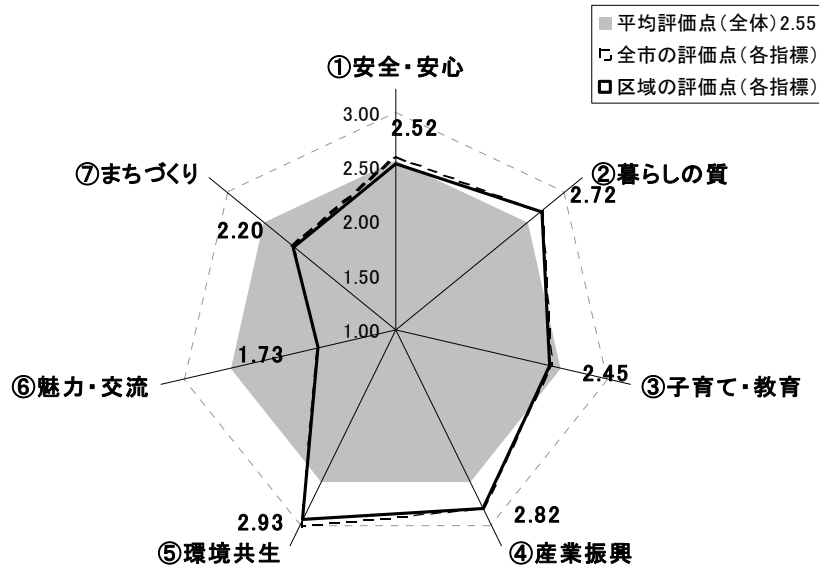


【西区】 日常生活の活動・行動 平均評価点

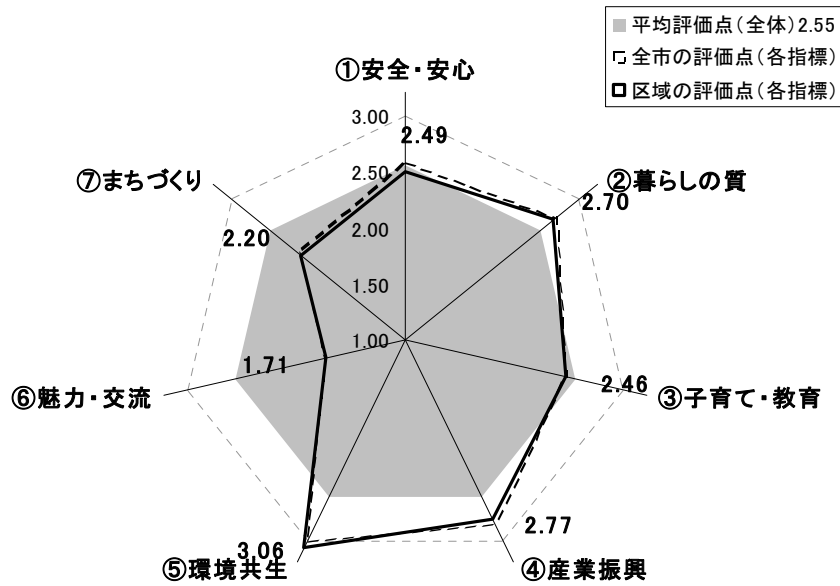


(注) 個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求めた。
 「積極的に行っている(心がけている)」 4点 「ある程度行っている(心がけている)」 3点
 「ほとんど行っていない(心がけていない)」 2点 「全く行っていない(心がけていない)」 1点

【南区】 日常生活の活動・行動 平均評価点

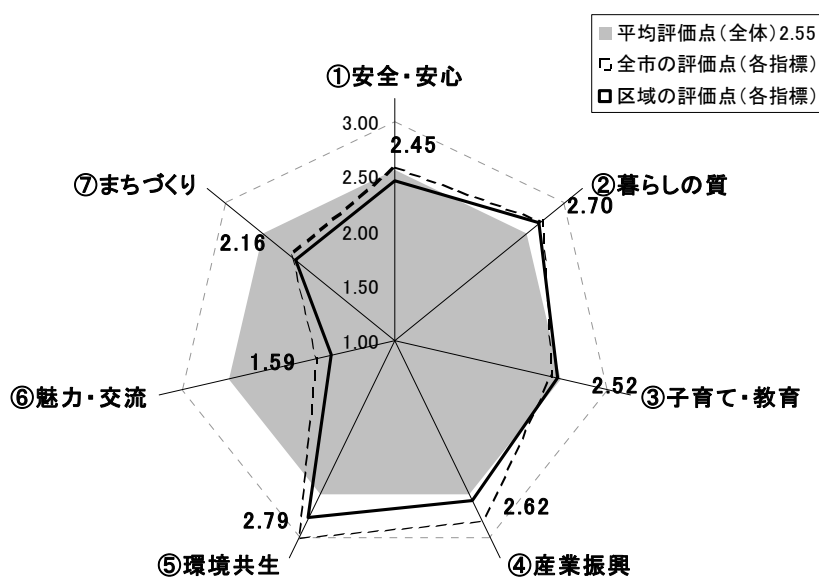


【北区】 日常生活の活動・行動 平均評価点



(注) 個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求めた。
 「積極的に行っている(心がけている)」 4点 「ある程度行っている(心がけている)」 3点
 「ほとんど行っていない(心がけていない)」 2点 「全く行っていない(心がけていない)」 1点

【美原区】 日常生活の活動・行動 平均評価点



(注)個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求めた。
 「積極的に行っている(心がけている)」 4点 「ある程度行っている(心がけている)」 3点
 「ほとんど行っていない(心がけていない)」 2点 「全く行っていない(心がけていない)」 1点

<分析コメント>

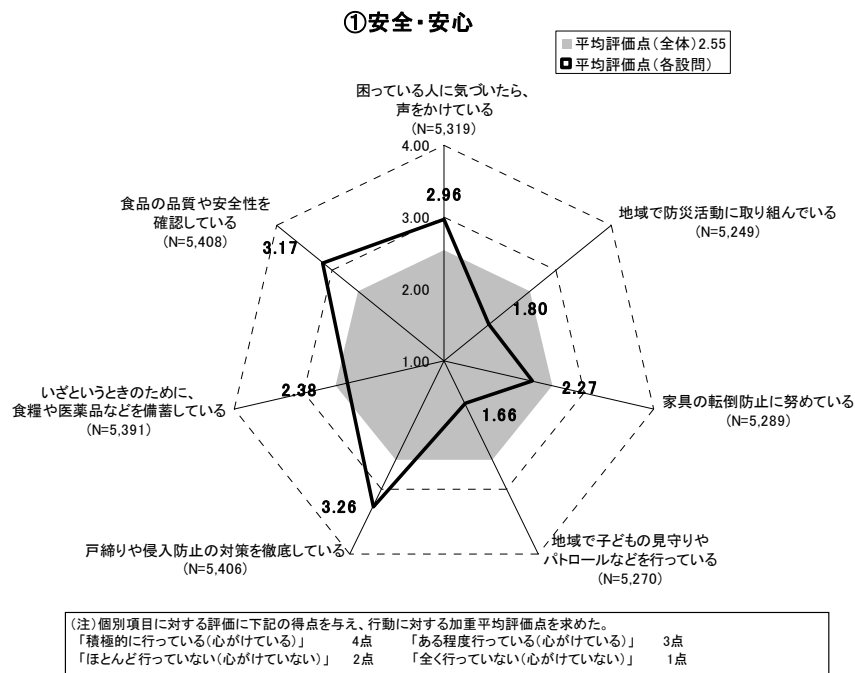
- ・堺区、中区、東区、南区、北区の各評価点は全市平均とほぼ同等程度。
- ・西区は、「魅力・交流」が全市平均をやや下回るが、他の政策は全て全市平均より高い。
- ・美原区は、「子育て・教育」が全市平均をやや上回るが、他の政策についての意識は全て全市平均より低い。

● 政策別

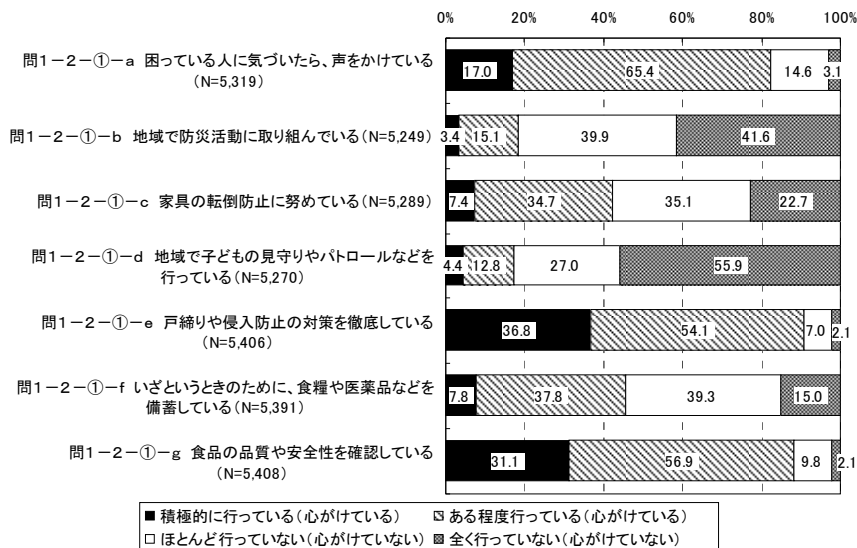
【①安全・安心に関する行動】

- ・ ①安全・安心に関する行動は、「戸締りや侵入防止の対策を徹底している」「食品の品質や安全性を確認している」「困っている人に気づいたら声をかけている」の順に、平均以上の評価点を示している。
- ・ 全体的に、防犯の取組を実践する割合が高く、防災の取組を実践する割合が低い傾向にある。また、個人での取組を実践する市民の割合が高く、地域全体での行動が必要な取組は低い割合にある。

図表 Ⅲ-5 暮らしの安全・安心に関する行動 平均評価点



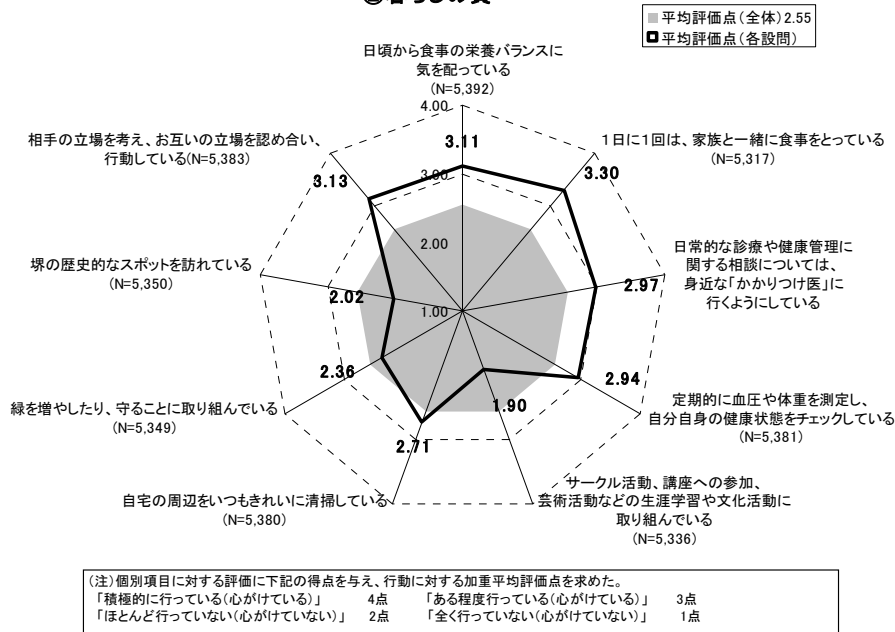
図表 Ⅲ-6 暮らしの安全・安心に関する行動【一覧】



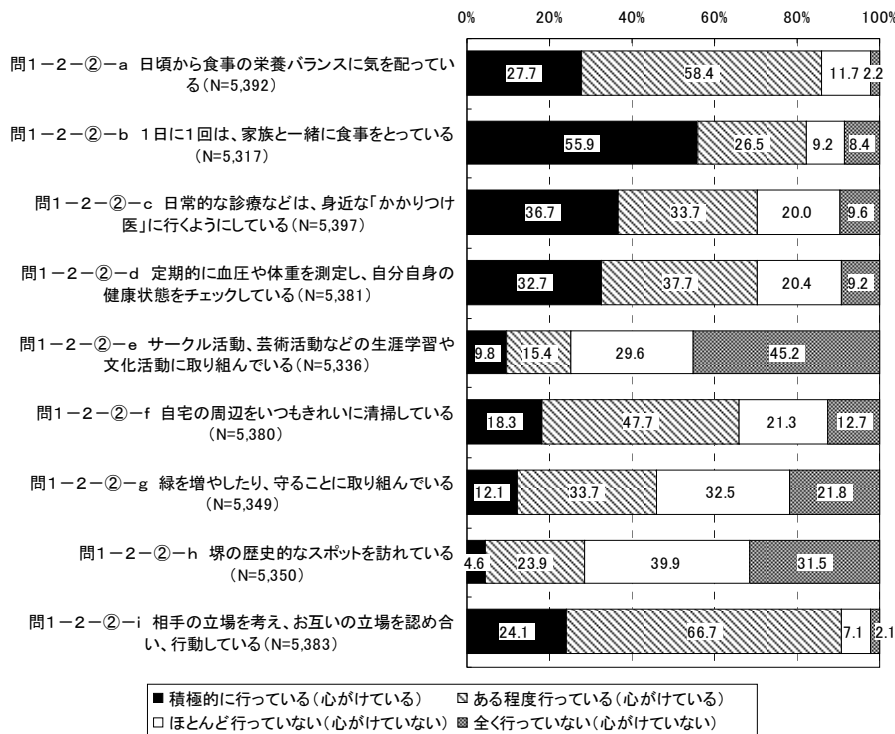
【②暮らしの質に関する行動】

- ・②暮らしの質に関する行動は、全体的に平均以上の評価点であるが、「サークル活動、講座への参加、芸術活動などの生涯学習や文化活動に取り組んでいる」「堺の歴史的なスポットを訪れている」は低く、市民の文化的な活動に関連する評価点は低い傾向にある。

図表 Ⅲ-7 暮らしの質に関する行動 平均評価点
②暮らしの質



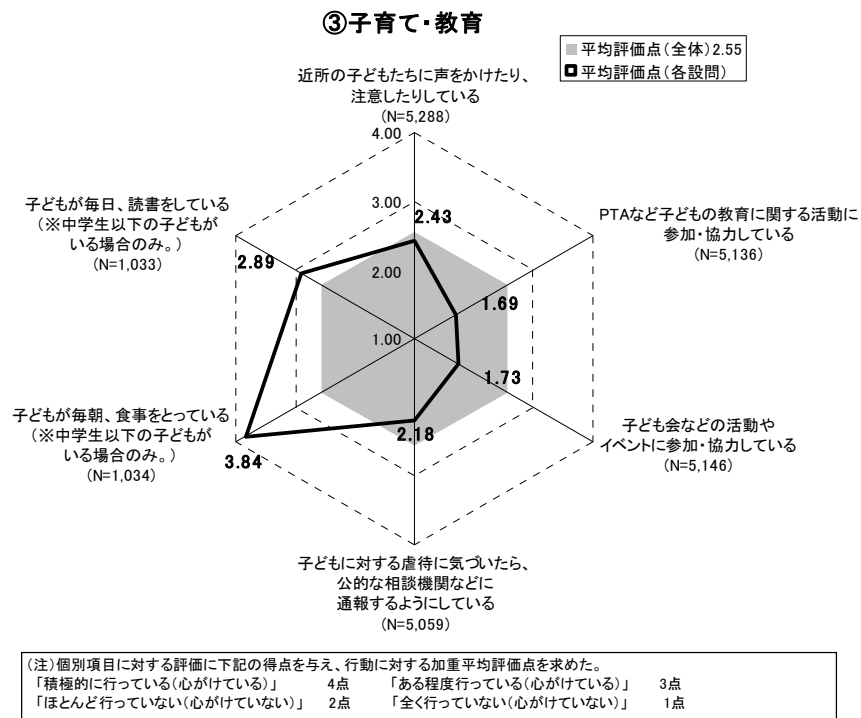
図表 Ⅲ-8 暮らしの質に関する行動【一覧】



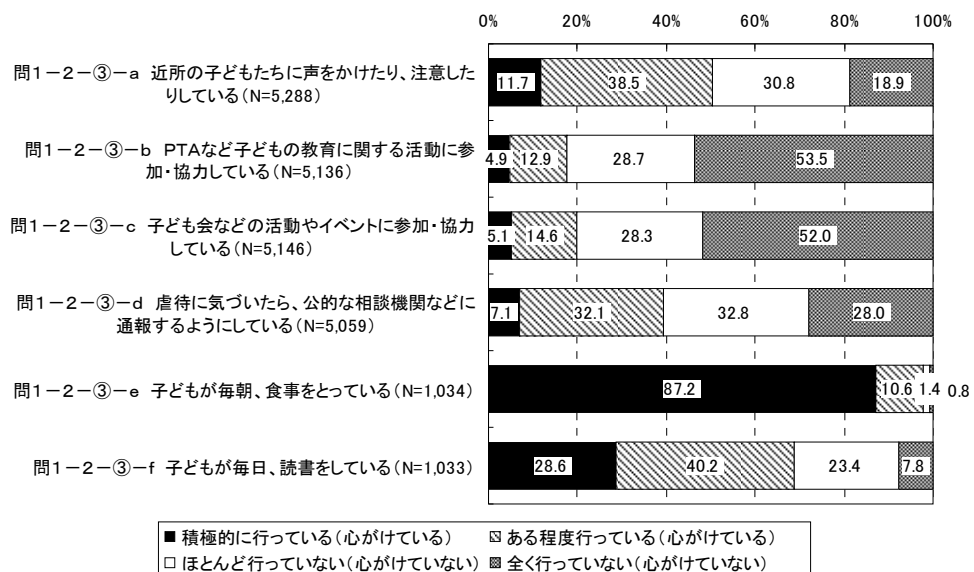
【③子育て・教育に関する行動】

- ・ ③子育て・教育に関する行動では、「子どもが毎朝、食事をとっている」「子どもが毎日、読書をしている」の順に、平均以上の評価点を示している。
- ・ 「PTAなど子どもの教育に関する活動に参加・協力している」「子ども会などの活動やイベントに参加・協力している」の順に、平均以下の評価点を示している。
- ・ 全体的に、家庭内での取組を実践する傾向が高く、地域活動への参加・協力を実践する割合は低い傾向にある。

図表 Ⅲ-9 子育て・教育に関する行動 平均評価点



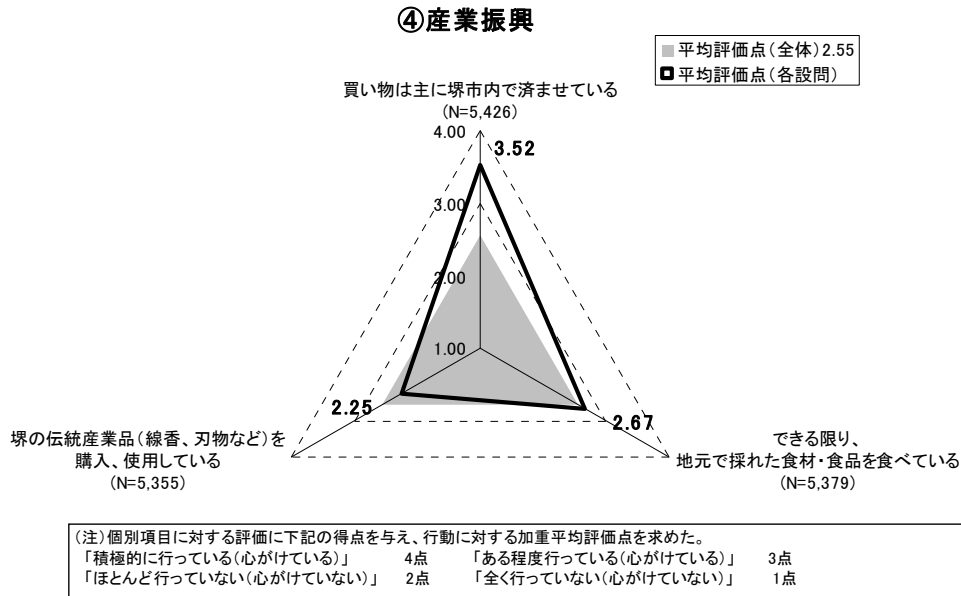
図表 Ⅲ-10 子育て・教育に関する行動【一覧】



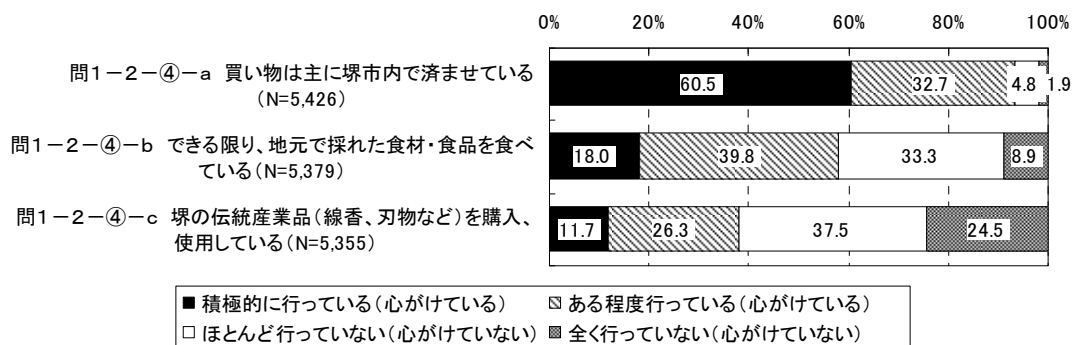
【④産業振興に関する行動】

- ・④産業振興に関する行動は、全体的に高い評価点を示している。中でも「買い物は主に堺市内で済ませている」市民の割合は非常に高い。

図表 III-11 地域の産業振興に関する行動 平均評価点



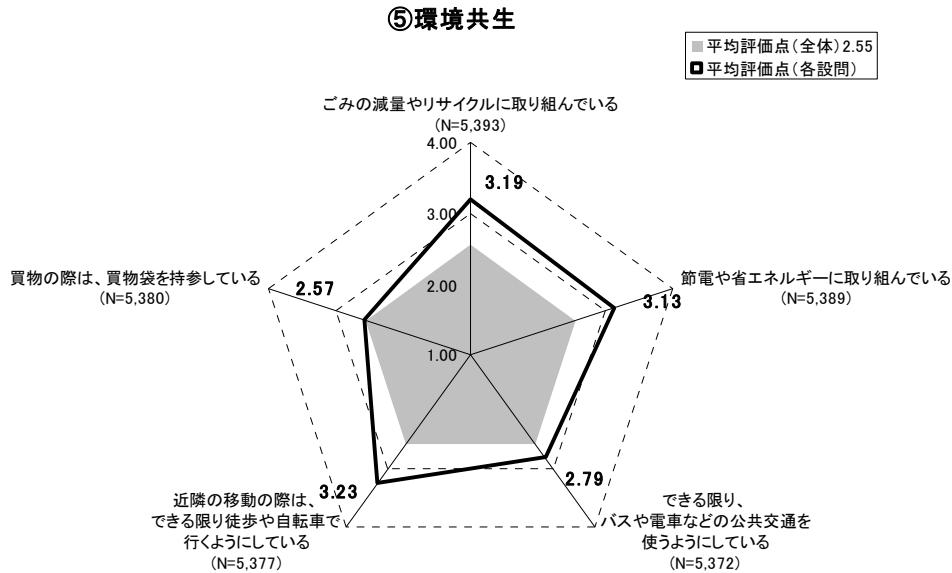
図表 III-12 地域の産業振興に関する行動【一覧】



【⑤環境共生に関する行動】

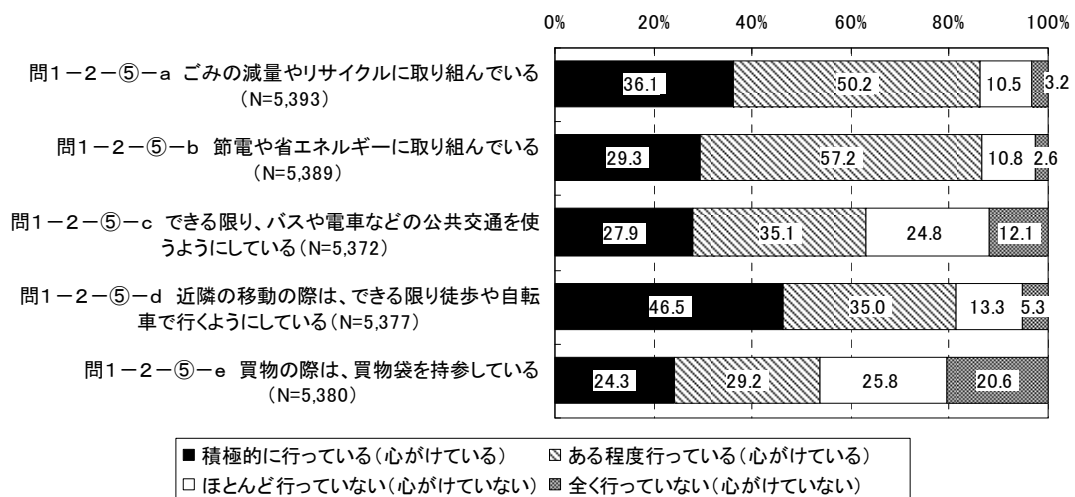
- ・⑤環境共生に関する行動は、全体的に高い評価点を示している。

図表 Ⅲ-13 環境との共生に関する行動 平均評価点



(注) 個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求めた。
 「積極的に行っている(心がけている)」 4点 「ある程度行っている(心がけている)」 3点
 「ほとんど行っていない(心がけていない)」 2点 「全く行っていない(心がけていない)」 1点

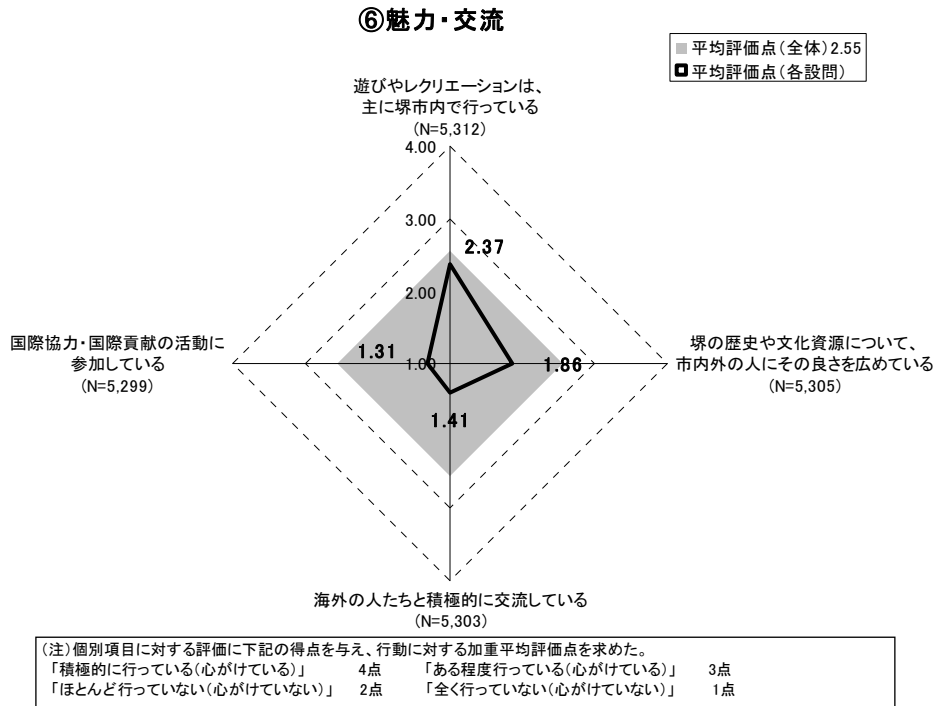
図表 Ⅲ-14 環境との共生に関する行動【一覧】



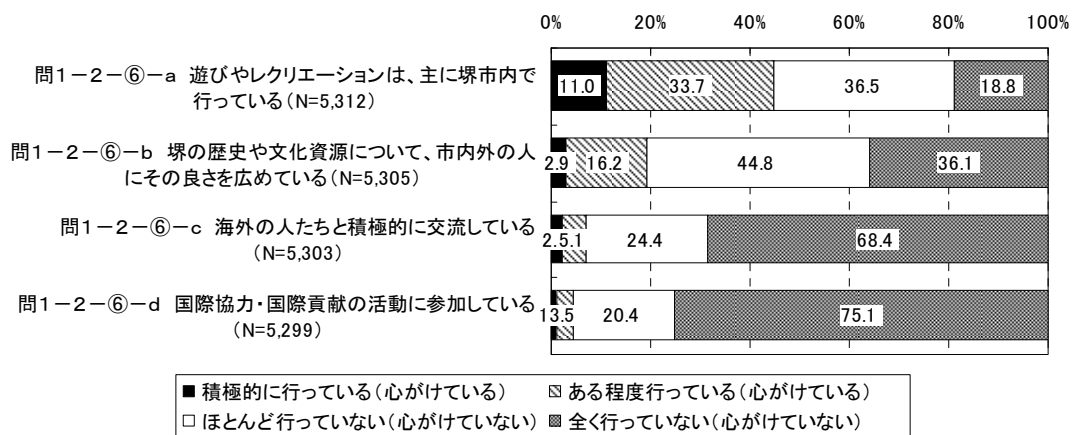
【⑥魅力・交流に関する行動】

・⑥魅力・交流に関する行動は、全体的に非常に低い評価点を示している。

図表 Ⅲ-15 まちの魅力や交流に関する行動 平均評価点



図表 Ⅲ-16 まちの魅力や交流に関する行動【一覧】

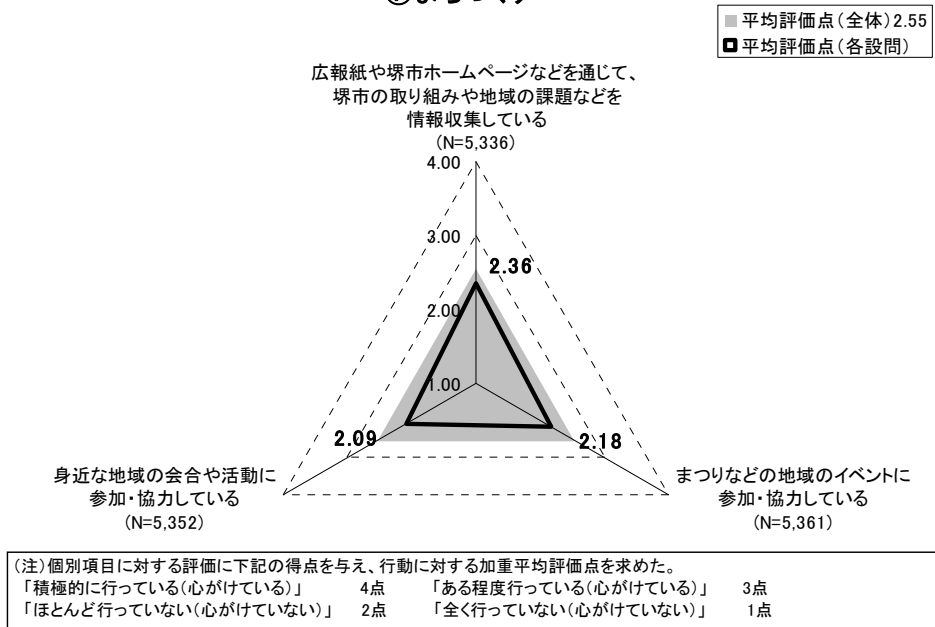


【⑦まちづくりに関係する行動】

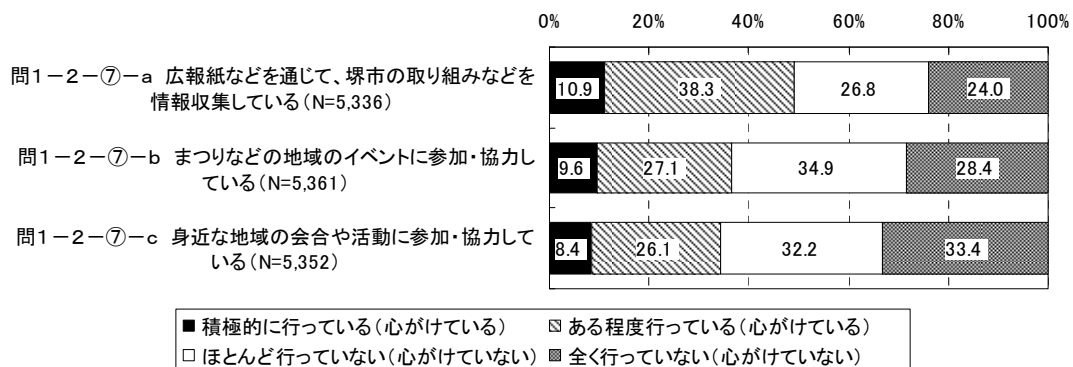
- ・⑦まちづくりに関係する行動は、全体的に平均をやや下回る評価点である。

図表 Ⅲ-17 地域のまちづくりに関係する行動 平均評価点

⑦まちづくり



図表 Ⅲ-18 地域のまちづくりに関係する行動【一覧】



2. 日常生活に関する意識について

【分析の趣旨】

- ・ 7政策35項目について平均評価点を求め傾向を分析している。
- ・ 平均評価点が高いほど、意識が高く、平均評価点が低いほど、意識が低いこと表す。

<意識指標ごとの平均評価点の考え方>

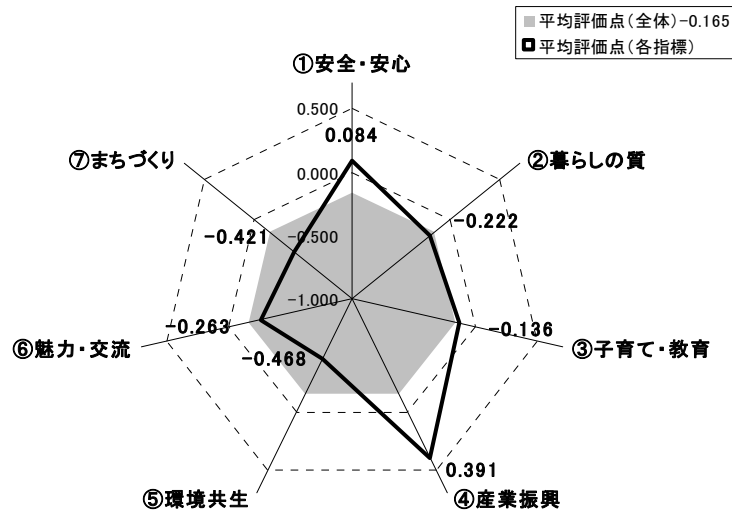
個別項目に対する評価に下記の得点を与え、意識に対する加重平均評価点を求め、7政策ごとにまとめて平均を求めた。

「そう思う」	3点
「ある程度はそう思う」	1点
「どちらともいえない」	0点
「あまりそう思わない」	-1点
「全くそう思わない」	-3点

※設問内容から、①-d、②-i、③-aは得点を反転させて加重平均評価点を求めた。

図表 Ⅲ-19 日常生活の意識 政策別平均評価点（全市）

【全市】 日常生活の意識 平均評価点



(注) 個別項目に対する評価に下記の得点を与え、意識に対する加重平均評価点を求めた。

「そう思う」	3点	「ある程度はそう思う」	1点
「あまりそう思わない」	-1点	「全くそう思わない」	-3点
「どちらともいえない」	0点		

※ 一部設問は、設問内容から、得点を反転させて加重平均評価点を求めた。

【分析コメント】

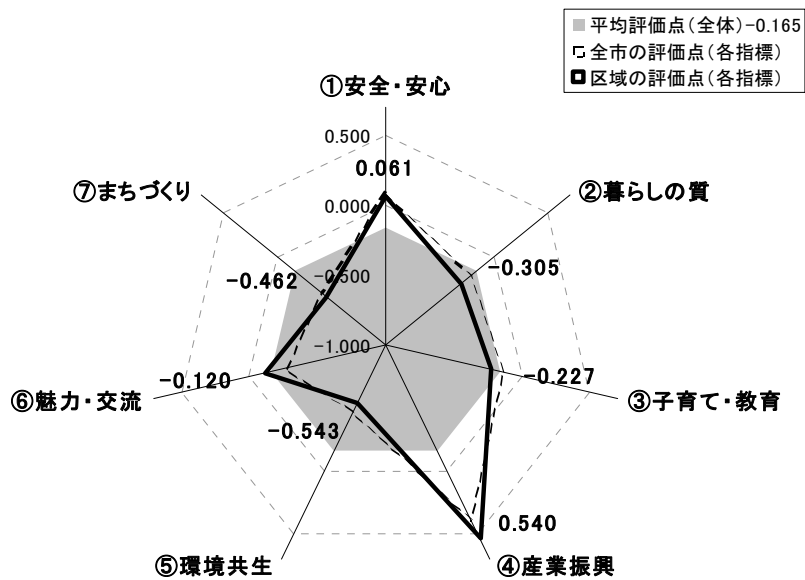
- ・「産業振興」や「安全・安心」に関する意識が高い。（特に産業振興は、近くに買い物できる場所の充実による影響が高い）
- ・「環境共生」や「まちづくり」に関する意識がやや低い。

- ・ 7政策35項目の平均評価点は-0.162。
- ・ 「安心・安全 (0.084)」、「産業振興 (0.391)」は平均評価点以上で、意識が高い傾向にある。特に「産業振興」の意識の高さは顕著である。
- ・ 一方で、「環境共生 (-0.468)」、「まちづくり (-0.421)」は平均評価点以下で、意識が低い傾向にある。
- ・ 「暮らしの質 (-0.222)」、「子育て・教育 (-0.136)」、「魅力・交流 (-0.263)」は、平均評価点に近い意識の傾向にある。

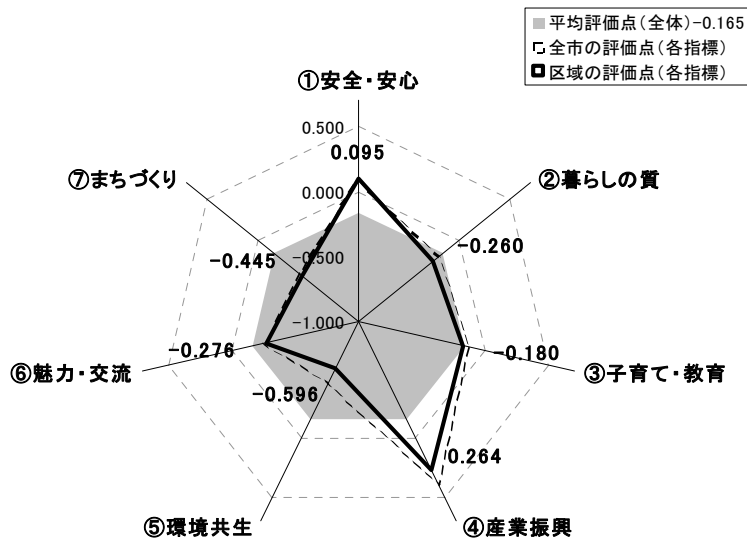
● 区域別

図表 Ⅲ-20 日常生活の意識 政策別平均評価点（区域別）

【堺区】 日常生活の意識 平均評価点

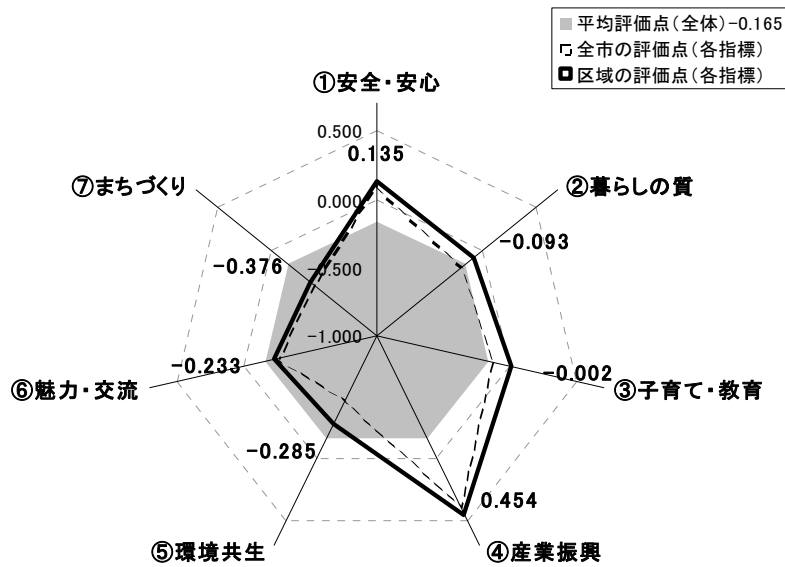


【中区】 日常生活の意識 平均評価点

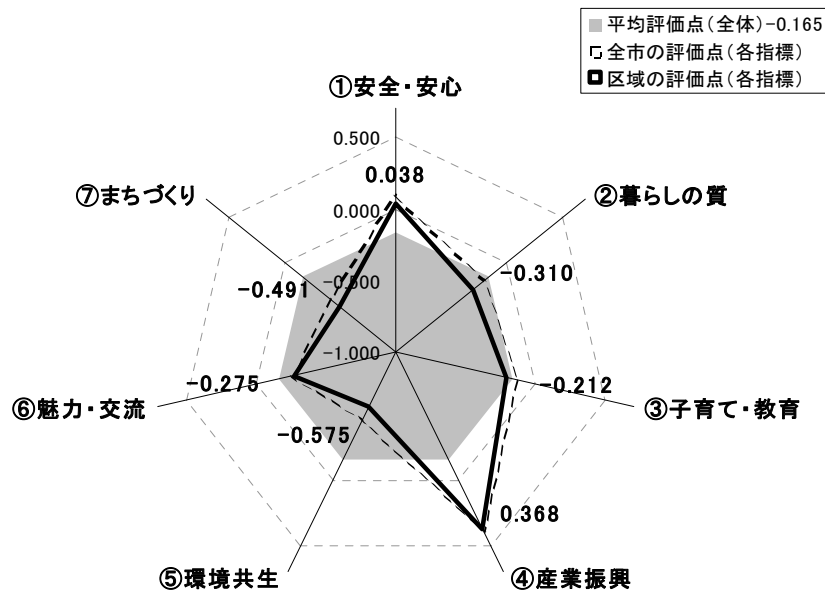


(注) 個別項目に対する評価に下記の得点を与え、意識に対する加重平均評価点を求めた。
 「そう思う」 3点 「ある程度はそう思う」 1点
 「あまりそう思わない」 -1点 「全くそう思わない」 -3点
 「どちらともいえない」 0点
 ※ 一部設問は、設問内容から、得点を反転させて加重平均評価点を求めた。

【東区】 日常生活の意識 平均評価点

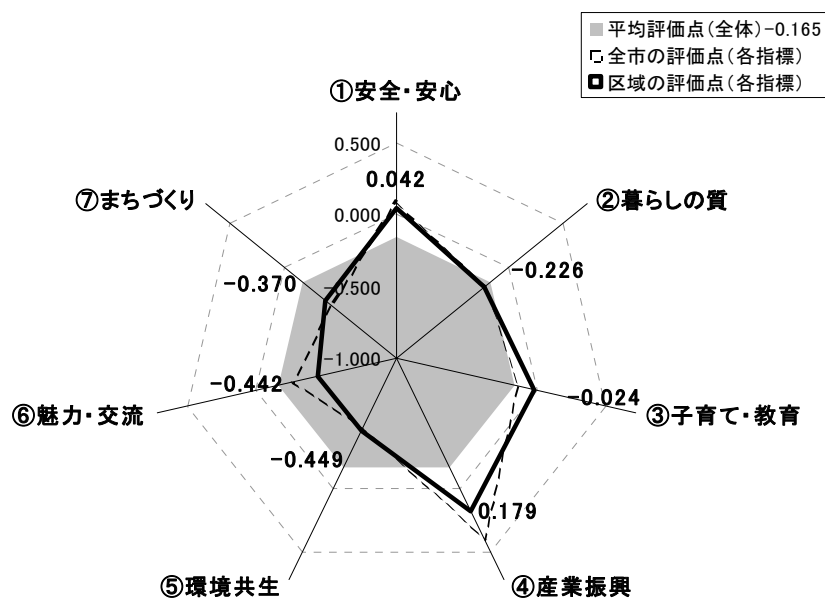


【西区】 日常生活の意識 平均評価点

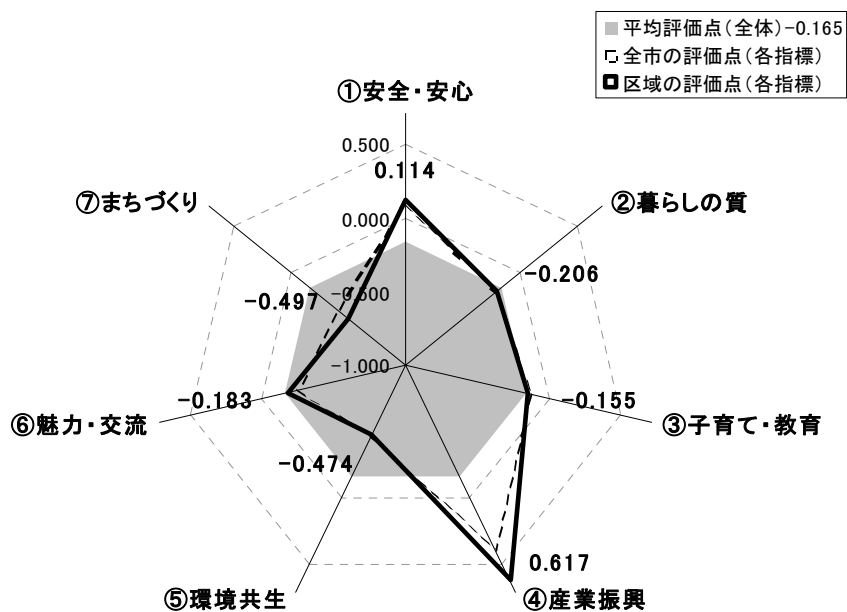


(注)個別項目に対する評価に下記の得点を与え、意識に対する加重平均評価点を求めた。
 「そう思う」 3点 「ある程度はそう思う」 1点
 「あまりそう思わない」 -1点 「全くそう思わない」 -3点
 「どちらともいえない」 0点
 ※ 一部設問は、設問内容から、得点を反転させて加重平均評価点を求めた。

【南区】 日常生活の意識 平均評価点



【北区】 日常生活の意識 平均評価点

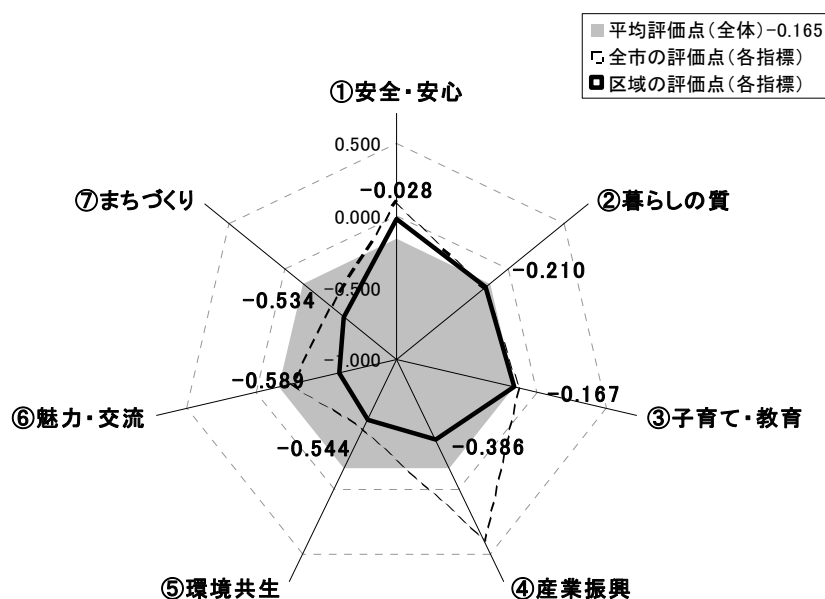


(注)個別項目に対する評価に下記の得点を与え、意識に対する加重平均評価点を求めた。

「そう思う」	3点	「ある程度はそう思う」	1点
「あまりそう思わない」	-1点	「全くそう思わない」	-3点
「どちらともいえない」	0点		

※ 一部設問は、設問内容から、得点を反転させて加重平均評価点を求めた。

【美原区】 日常生活の意識 平均評価点



(注)個別項目に対する評価に下記の得点を与え、意識に対する加重平均評価点を求めた。

「そう思う」	3点	「ある程度はそう思う」	1点
「あまりそう思わない」	-1点	「全くそう思わない」	-3点
「どちらともいえない」	0点		

※ 一部設問は、設問内容から、得点を反転させて加重平均評価点を求めた。

【分析コメント】

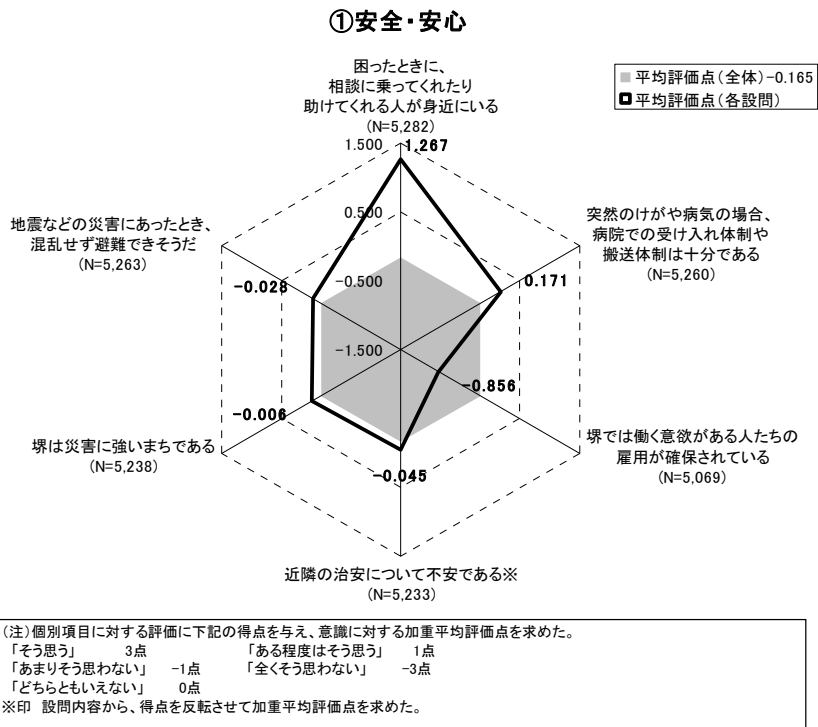
- ・堺区は、「暮らしの質」「子育て・教育」が全市平均よりもやや高い。
- ・中区は、「安全・安心」が全市平均よりもやや高いが、その他は全市平均を下回っている。
- ・東区は、全ての政策において全市平均を上回っている。
- ・西区は、「魅力・交流」が全市平均よりもやや高い。
- ・南区は、「暮らしの質」「子育て・教育」「環境共生」「まちづくり」が全市平均よりもやや高い。
- ・北区は、「安全・安心」「暮らしの質」「産業振興」「魅力・交流」で全市平均よりもやや高い。
- ・美原区は、「暮らしの質」が全市平均よりもやや高いが、特に「産業振興」「魅力・交流」は全市平均を大幅に下回っている。

● 政策別

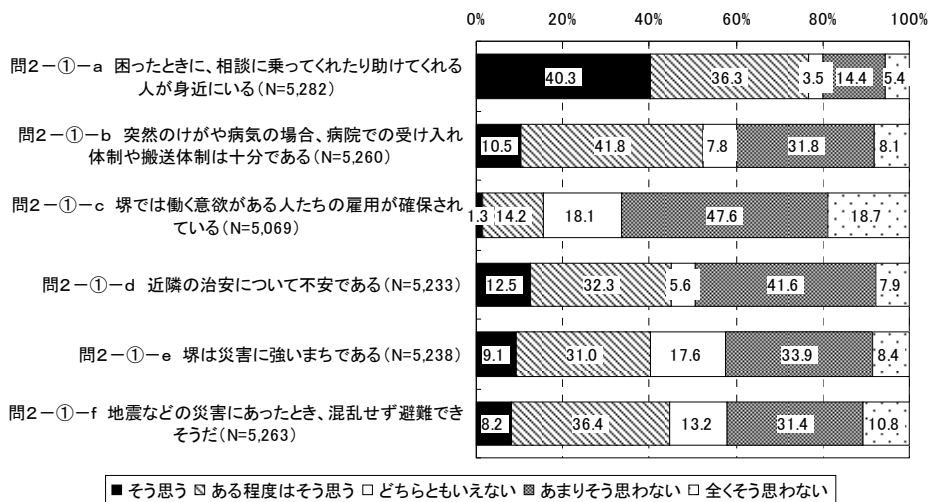
【①安全・安心に関する意識】

・①安全・安心についての意識は、全体的に比較的高い評価にある。中でも「困ったときに相談に乗ってくれたり助けしてくれる人が身近にいる」という意識は非常に高い傾向にある。一方で「堺では働く意欲がある人たちの雇用が確保されている」という意識は非常に低くなっている。

図表 Ⅲ-21 暮らしの安全・安心に関する意識 平均評価点



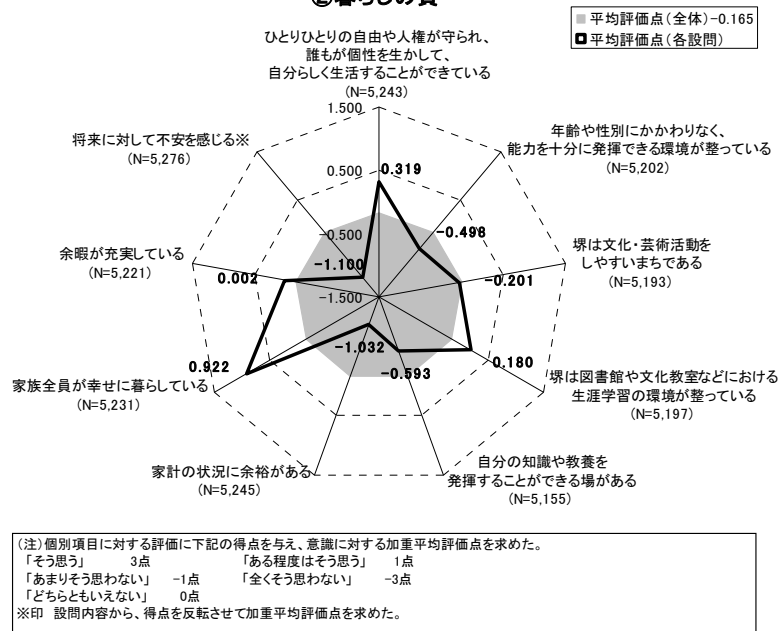
図表 Ⅲ-22 暮らしの安全・安心に関する意識【一覧】



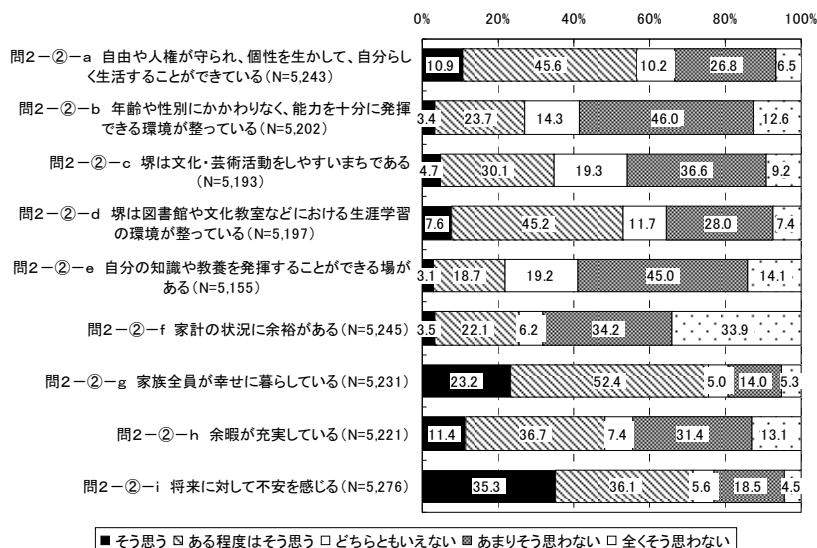
【②暮らしの質に関する意識】

- ・②暮らしの質についての意識では、「家族全員が幸せに暮らしている」「ひとりひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を生かして、自分らしく生活することができる」「場は図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている」の順に平均以上の高い意識がうかがえる。
- ・一方、「将来に対して不安を感じる」（評価得点を反転）「家計の状況に余裕がある」は、特に低い意識傾向にある。
- ・「年齢や性別にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っている」「自分の知識や教養を発揮することができる場がある」も平均よりもやや低い意識傾向にある。

図表 III-23 暮らしの質に関する意識 平均評価点
②暮らしの質



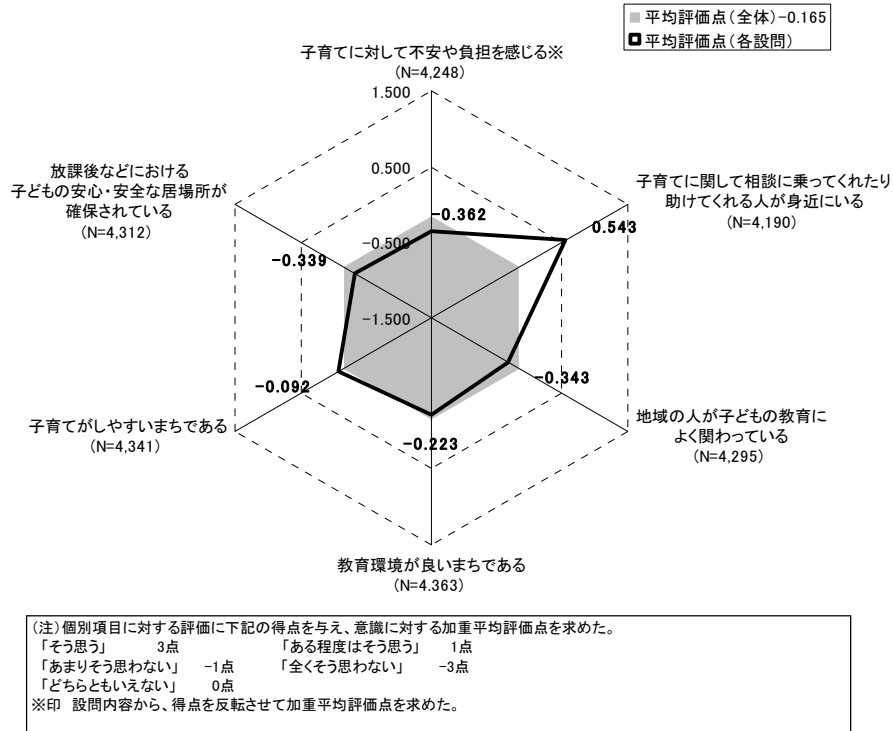
図表 III-24 暮らしの質に関する意識【一覧】



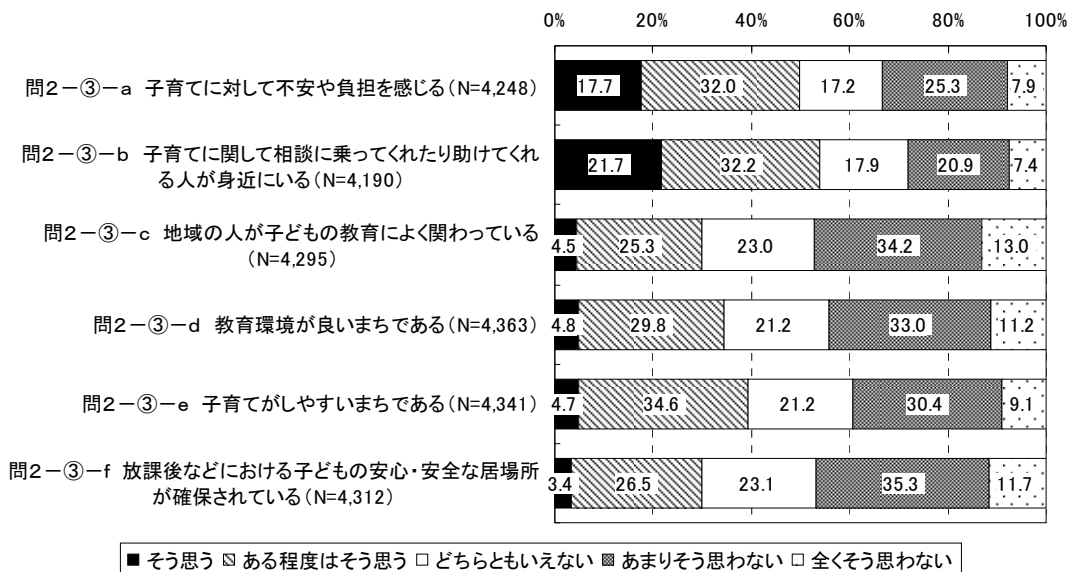
【③子育て・教育に関する意識】

- ・③子育て・教育についての意識は、特に「子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいる」意識は高く、その他の意識は全体平均と同等程度である。

図表 Ⅲ-25 子育て・教育に関する意識 平均評価点
③子育て・教育



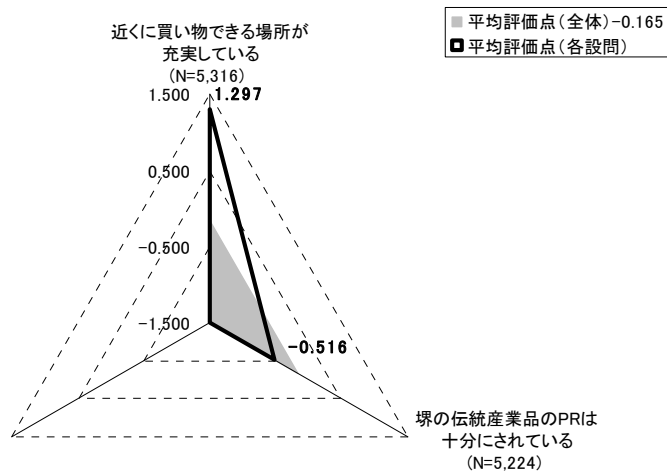
図表 Ⅲ-26 子育て・教育に関する意識【一覧】



【④産業振興に関する意識】

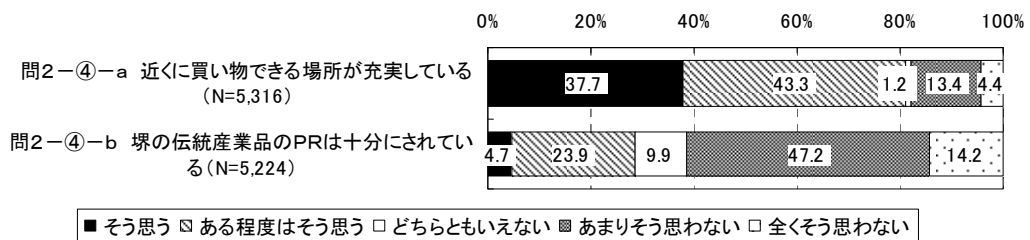
- ・④産業振興についての意識は、「近くに買い物できる場所が充実している」意識は非常に高いが、「堺の伝統産業のPRは十分にされている」という意識は低くなっている。

図表 Ⅲ-27 地域の産業振興に関する意識 平均評価点
④産業振興



(注)個別項目に対する評価に下記の得点を与え、意識に対する加重平均評価点を求めた。
 「そう思う」 3点 「ある程度はそう思う」 1点
 「あまりそう思わない」 -1点 「全くそう思わない」 -3点
 「どちらともいえない」 0点
 ※印 設問内容から、得点を反転させて加重平均評価点を求めた。

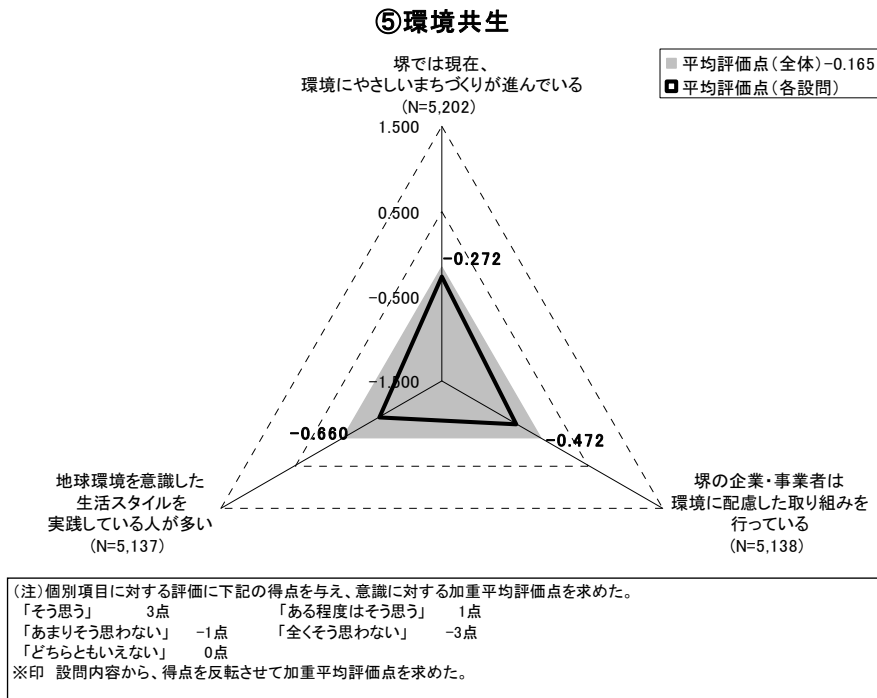
図表 Ⅲ-28 地域の産業振興に関する意識【一覧】



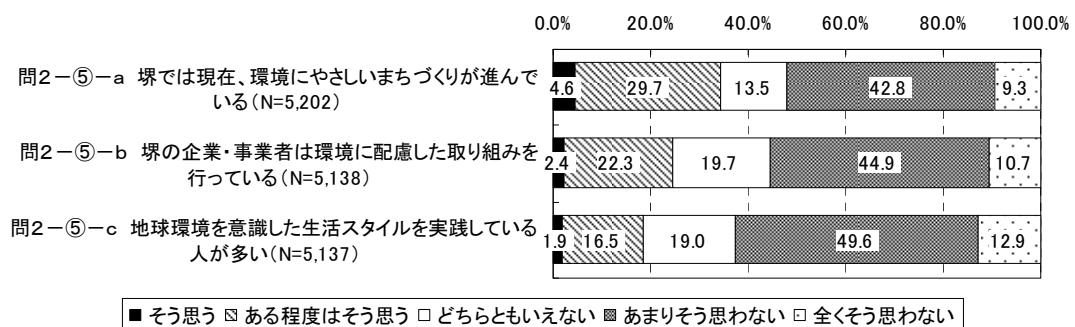
【⑤環境共生に関する意識】

- ・⑤環境共生についての意識は、「地球環境を意識した生活スタイルを実践している人が多い」「堺の企業・事業者は環境に配慮した取り組みを行っている」の順に全体平均より低い意識傾向が見られる。

図表 III-29 環境との共生に関する意識 平均評価点



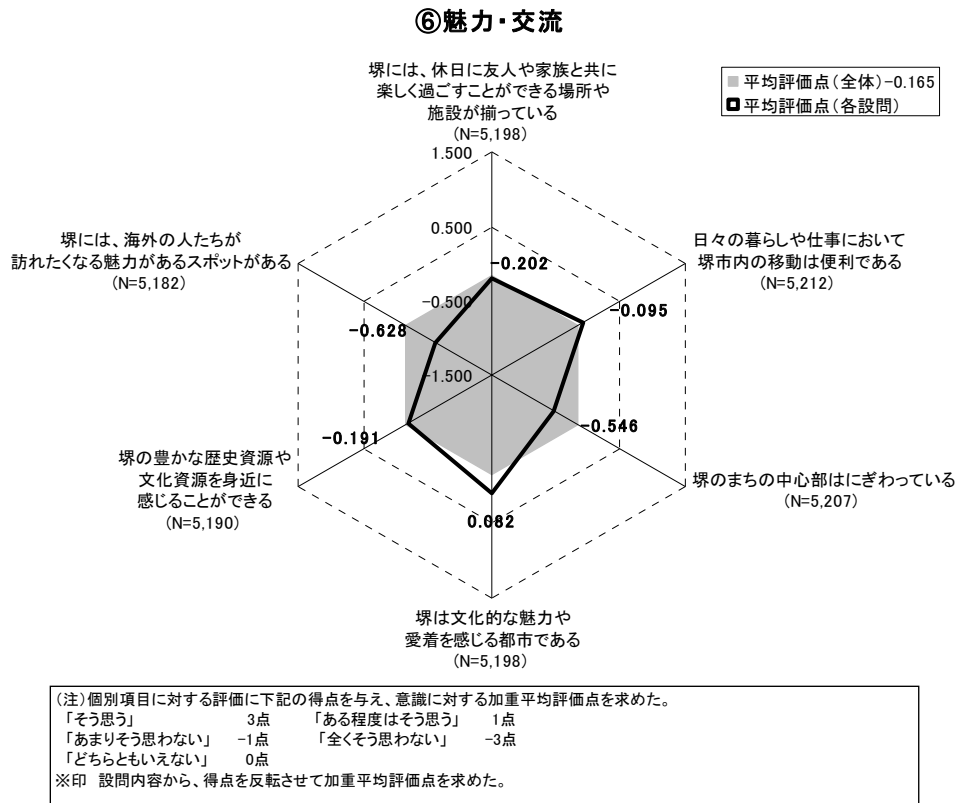
図表 III-30 環境との共生に関する意識【一覧】



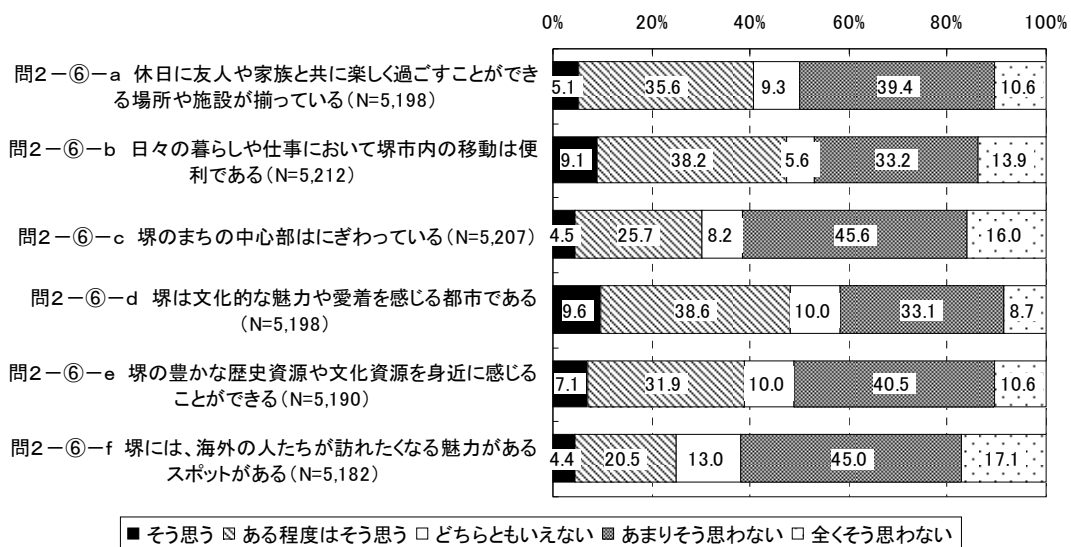
【⑥魅力・交流に関する意識】

・⑥魅力・交流についての意識は、「堺のまちの中心部はにぎわっている」「堺には、海外の人たちが訪れたい魅力あるスポットがある」の意識は非常に低く、堺の中心部の活気や海外の人たちへの魅力のアピールに対する意識は低い傾向にある。

図表 III-31 まちの魅力や交流に関する意識 平均評価点



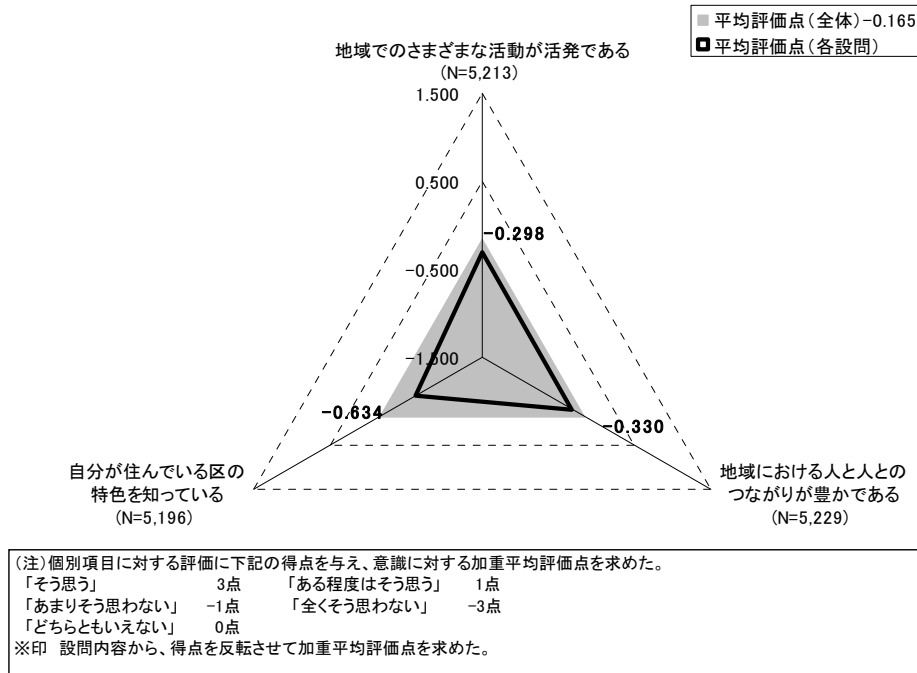
図表 III-32 まちの魅力や交流に関する意識【一覧】



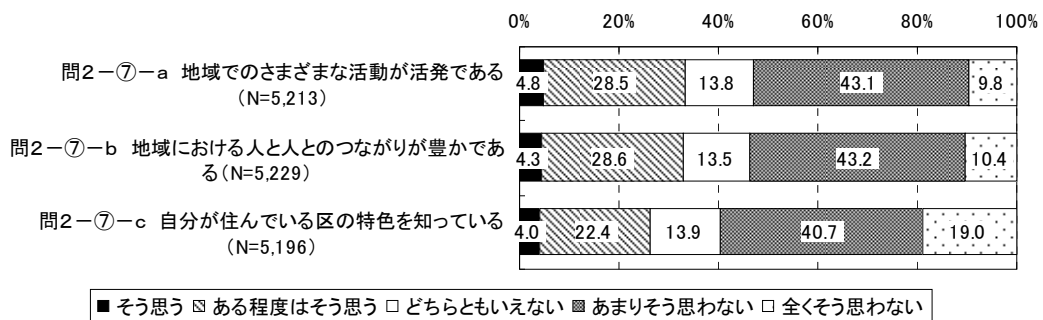
【⑦まちづくりに関係する意識】

- ・⑦まちづくりについての意識は、「自分の住んでいる区の特徴を知っている」の意識は全体平均よりも低くなっているが、その他の意識は全体平均と同等程度である。

図表 III-33 地域のまちづくりに関する意識 平均評価点
⑦まちづくり



図表 III-34 地域のまちづくりに関する意識【一覧】



3. 日常生活の行動と意識の関連性について

【分析の趣旨】

- ・ 行動に関する設問（7政策37項目）、意識に関する設問（7政策35項目）の政策ごとに平均評価点を求め、行動をY軸、意識をX軸に定めて全ての回答者の分布傾向を分析する。
- ・ 政策ごとに行動と意識の関連傾向を次ページ以降で図示する。

【平均評価点の考え方】

<行動指標ごとの平均評価点の考え方>

個別項目に対する評価に下記の得点を与え、行動に対する加重平均評価点を求め、7政策ごとにまとめて平均を求めた。

「積極的に行っている（心がけている）」	4点
「ある程度行っている（心がけている）」	3点
「ほとんど行っていない（心がけていない）」	2点
「全く行っていない（心がけていない）」	1点

<意識指標ごとの平均評価点の考え方>

個別項目に対する評価に下記の得点を与え、意識に対する加重平均評価点を求め、7政策ごとにまとめて平均を求めた。

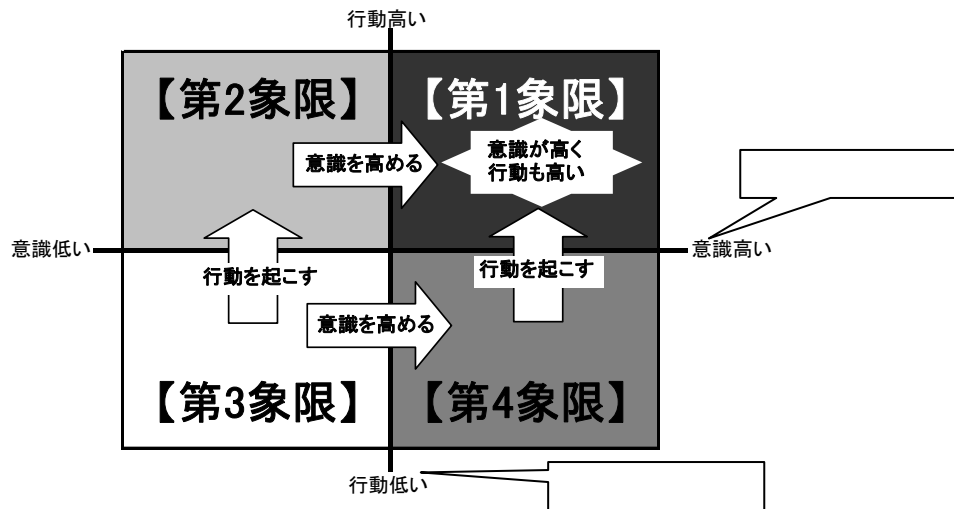
「そう思う」	3点
「ある程度はそう思う」	1点
「どちらともいえない」	0点
「あまりそう思わない」	-1点
「全くそう思わない」	-3点

※設問内容から、①-d、②-i、③-aは得点を反転させて加重平均評価点を求めた。

【図の見方】

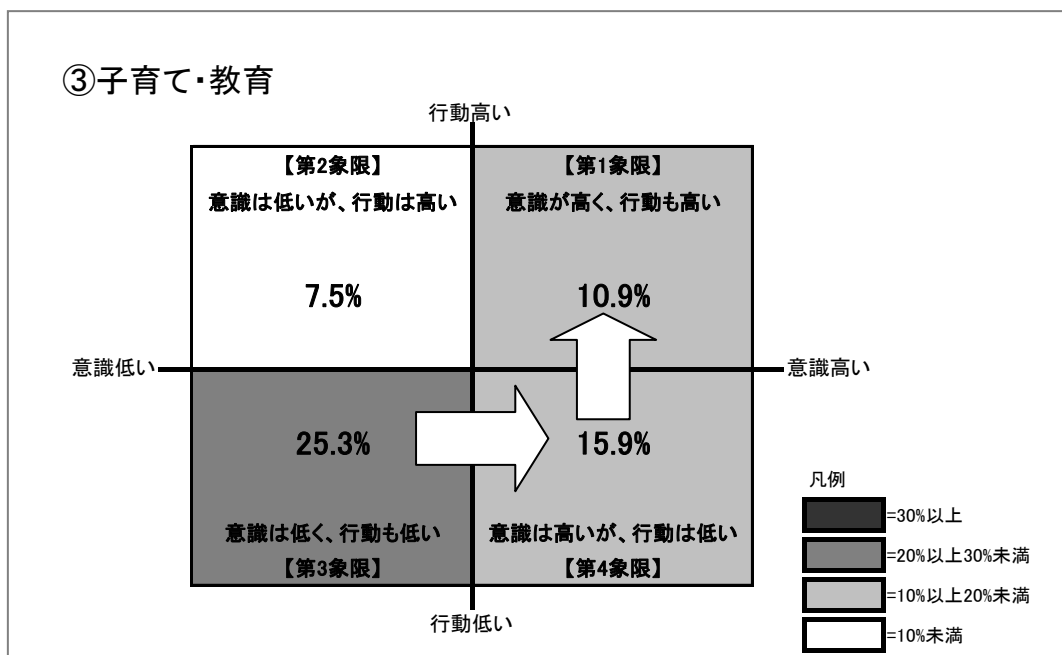
- ・ 行動7政策と意識7政策のそれぞれを得点化し、行動をY軸（最大4点・最小1点）、意識をX軸（最大3点・最小-3点）の2軸に図示すると、行動の高低と意識の高低の程度で、4象限に分類ができる。
- ・ 各政策の行動と意識の相関の4象限の分布割合から、行動と意識を高めるための働きかけ（打ち手）をどのように行うかの目安が把握できる。

図表 III-35 日常生活の意識と行動の相関の4象限の特徴



- ・ 例えば、図表III-36にある③子育て・教育の場合、意識は低く行動も低い人（第3象限）の割合が一番多く、この層に対する打ち手Aで意識を高め、意識は高いが行動は低い人（第4象限）を増やすことができる。更に打ち手Bで、行動を活発にさせることで、意識も行動も高い人（第1象限）を増やすことができる。

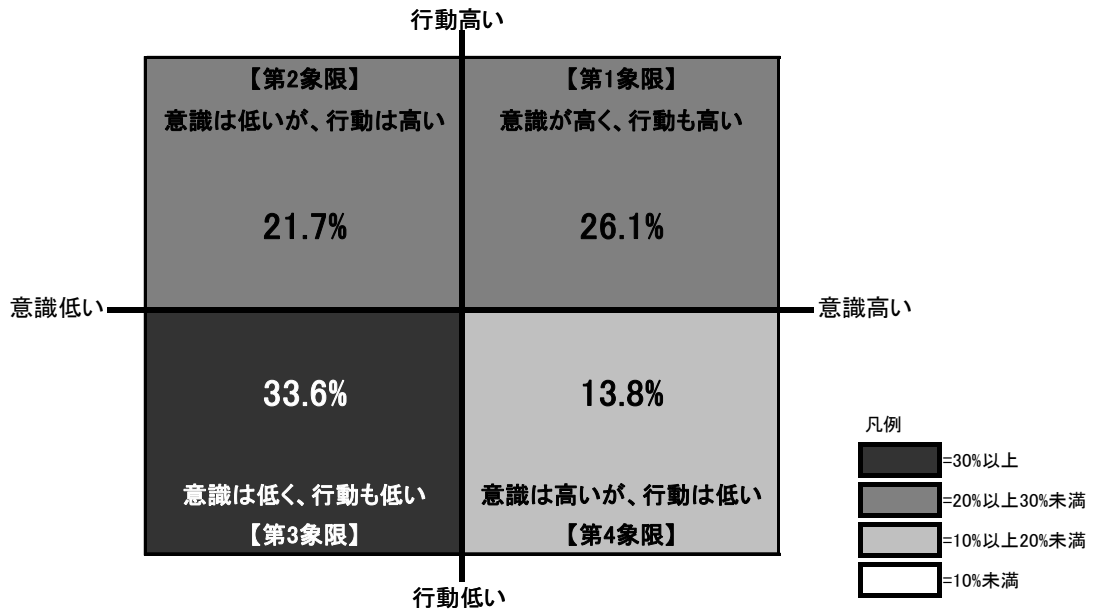
図表 III-36 日常生活の意識と行動を高める打ち手の考え方



【分析結果】

● 全体

図表 Ⅲ-37 日常生活の意識と行動の相関 全体



【分析コメント】

- ・ 全体的に、意識も行動も低い層が最も多い。
- ・ 「安全・安心」は行動が低い傾向にあるため、行動を高める打ち手が必要。
- ・ 「暮らしの質」や「環境共生」は行動に対して意識が低い傾向にあるため、意識を高める打ち手が必要。
- ・ 「子育て・教育」「魅力・交流」「まちづくり」は行動も意識も低い傾向にあるため、その双方を高める打ち手が必要。

・ 7政策の意識と行動の相関は、以下のとおり

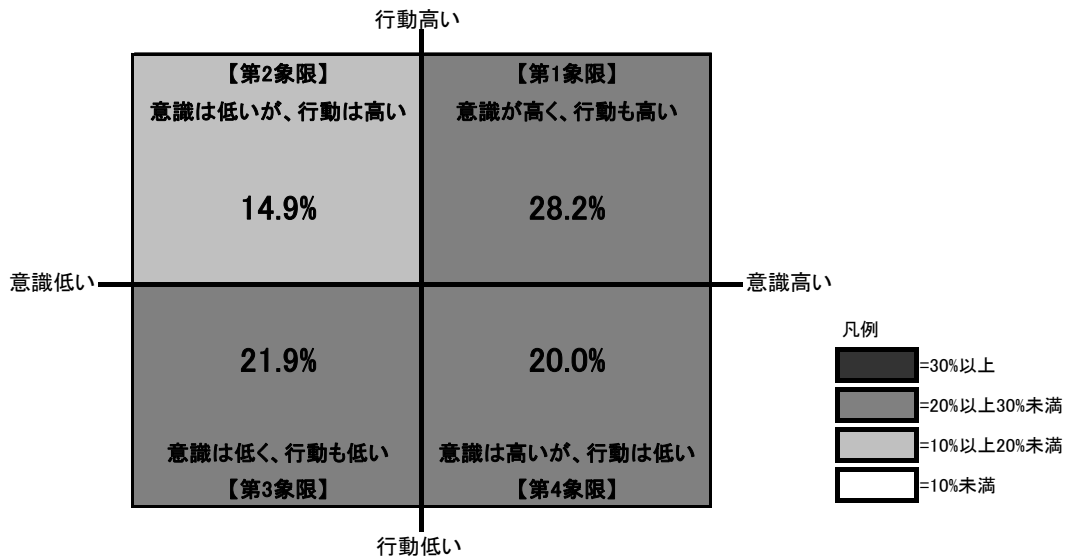
- ④産業振興は意識も行動も高い（第1象限）傾向が顕著である。
- ①安全・安心は、意識も行動も高い（第1象限）傾向にあるが、各象限の割合差が小さい。
- ②暮らしの質と⑤環境共生の傾向は近似し、意識は高いが行動は低い（第2象限）。
- ③子育て・教育と⑥魅力・交流、⑦まちづくりは、意識も行動も低い（第3象限）。

● 政策別

①安全・安心

- ・「安全・安心」に関して、意識の行動も高い傾向にある。
- ・属性によって、意識も行動も低い層がいるため、その層に対して行動・参加を高め
ていく働きかけが必要である。

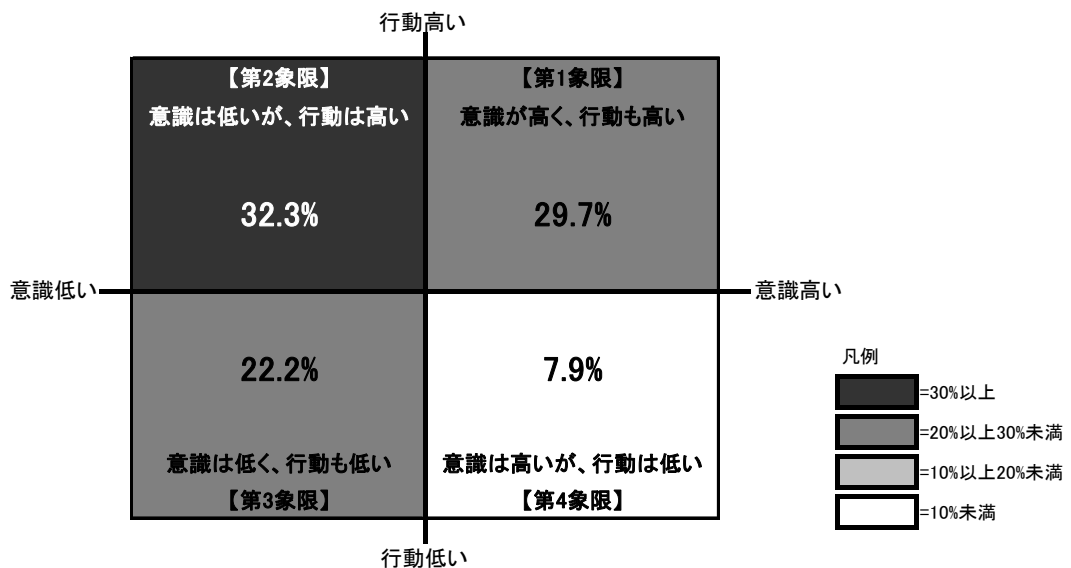
図表 Ⅲ-38 日常生活の意識と行動の相関 ①安全・安心



②暮らしの質

- ・「暮らしの質」に関して、意識に対して行動が高い傾向にある。
- ・属性によって、意識も行動も低い層がいるため、その層に対して行動・参加を高め
ていく働きかけが必要である。

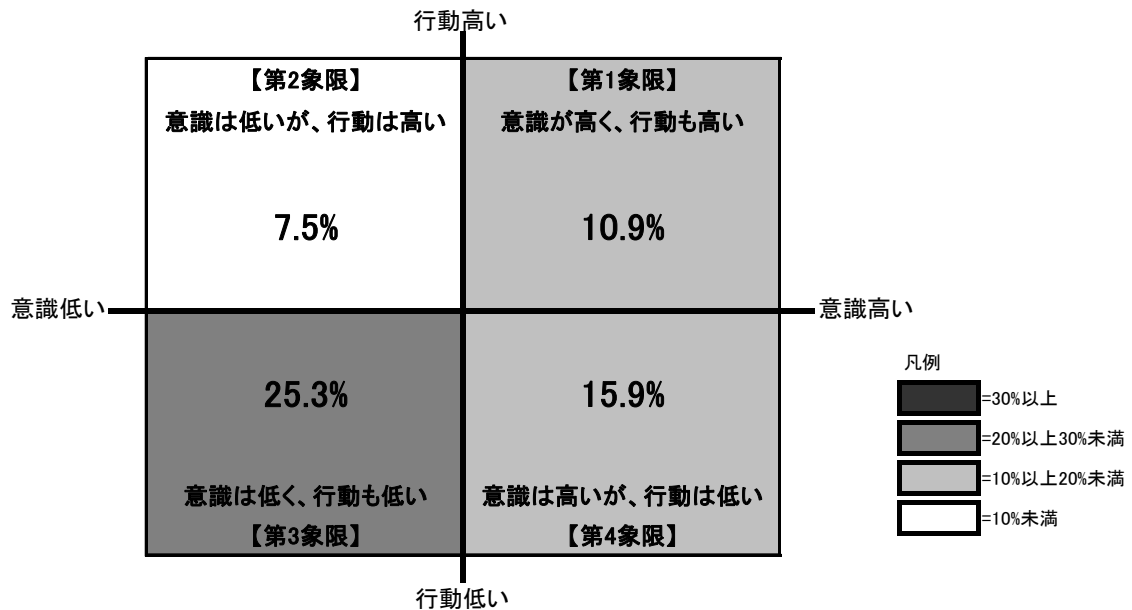
図表 Ⅲ-39 日常生活の意識と行動の相関 ②暮らしの質



③子育て・教育

- ・「子育て・教育」に関して。子どものいる世帯では、行動も意識も高い傾向にある。
- ・総じて、意識も行動も低い傾向にある。
- ・特に、子どものいない世帯に対して、意識も行動も低い層が多いため、その層に対して行動・参加を高めていく働きかけが必要である。

図表 Ⅲ-40 日常生活の意識と行動の相関 ③子育て・教育

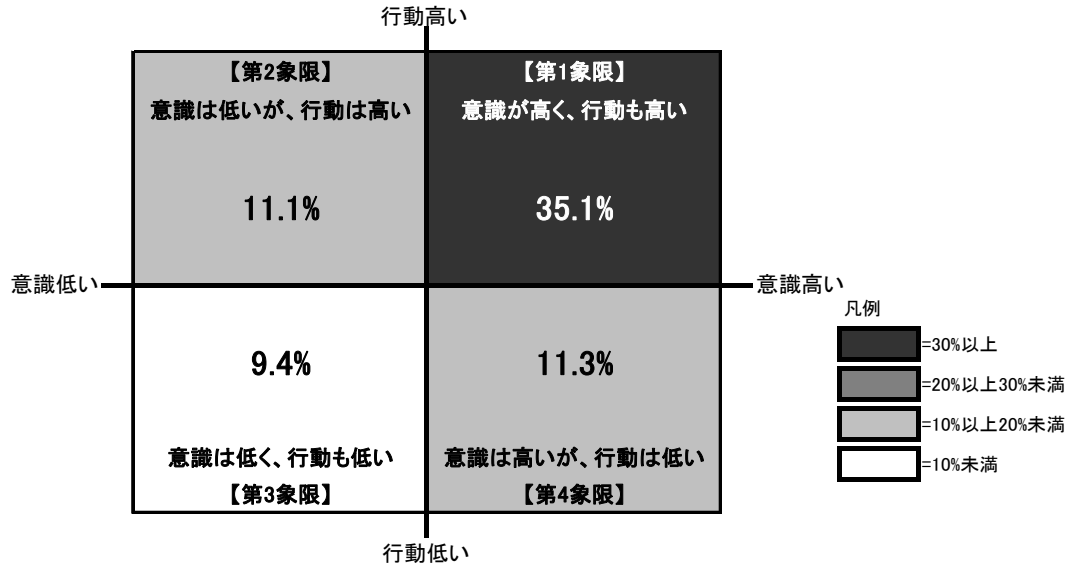


※回答者自身の判断で、子どもの有無などにより子育て・教育に関する設問には回答していない場合が多数あるが、その場合は集計外として整理している。

④産業振興

- ・「産業振興」に関して、意識も行動も高い意識がある。
- ・属性によって、意識も行動も低い層がいるため、その層に対して行動・参加を高め
ていく働きかけが必要である。

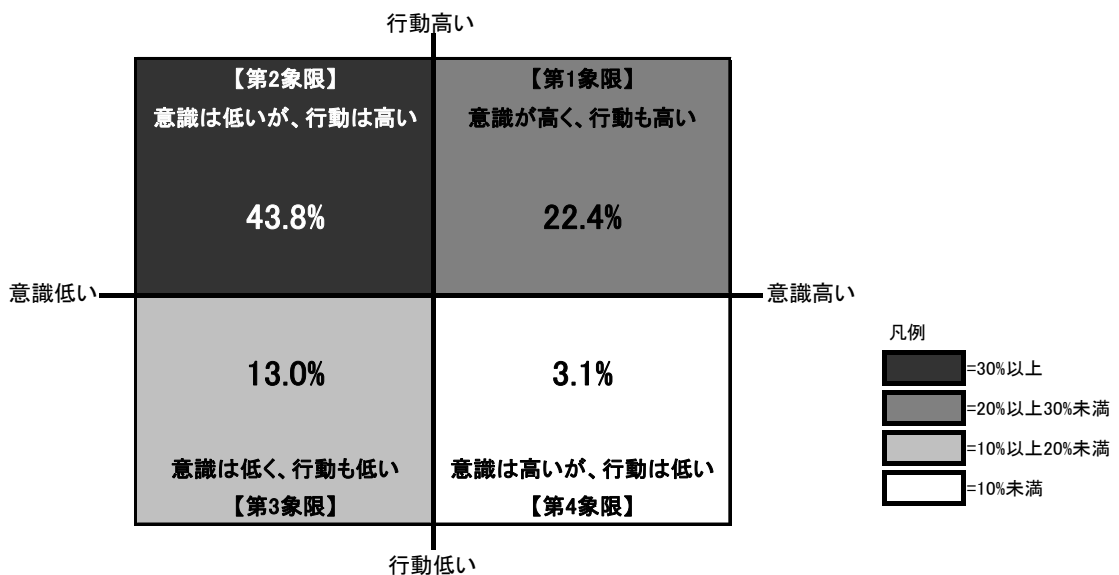
図表 Ⅲ-41 日常生活の意識と行動の相関 ④産業振興



⑤環境共生

- ・「環境共生」に関して、意識は低いが行動は高い傾向にある。
- ・個人的な行動を進めているものの、まち全体での取り組みが不十分であるとの意識がある。
- ・今後、まち全体の取り組みを活性化させる先導的な取り組みの推進が求められる。

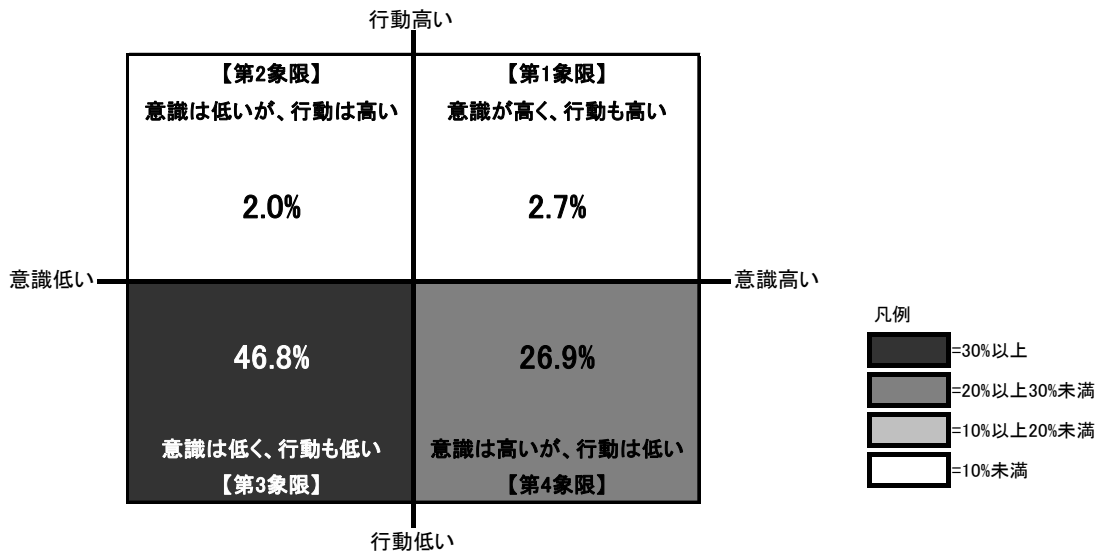
図表 Ⅲ-42 日常生活の意識と行動の相関 ⑤環境共生



⑥魅力・交流

- ・「魅力・交流」に関して、意識も行動も低い傾向にあり、他6政策と比較しても行動が低い傾向にある。
- ・特に国際交流・国際協力・国際貢献活動についての行動の低さは顕著である。
- ・今後、都市の魅力や交流に関して「都市の課題」としての周知をさせていく必要がある。

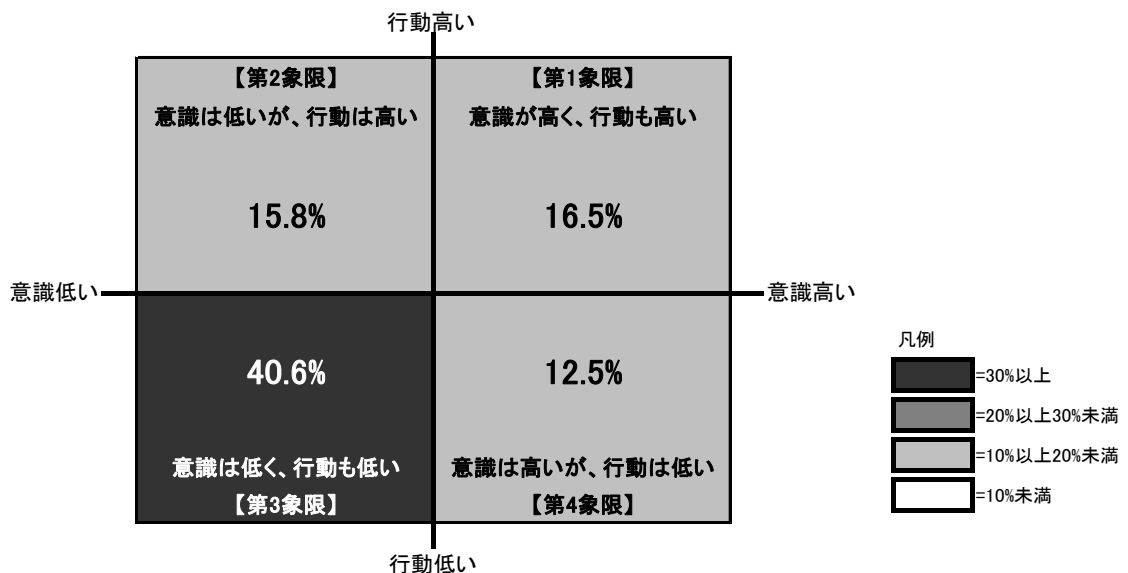
図表 Ⅲ-43 日常生活の意識と行動の相関 ⑥魅力・交流



⑦まちづくり

- ・「まちづくり」に関して、意識も行動も低い傾向にある。
- ・属性によっては、若干行動の高さに相違がある。
- ・今後、「まちづくり」に関して「都市の課題」としての周知をさせていく必要がある。

図表 Ⅲ-44 日常生活の意識と行動の相関 ⑦まちづくり

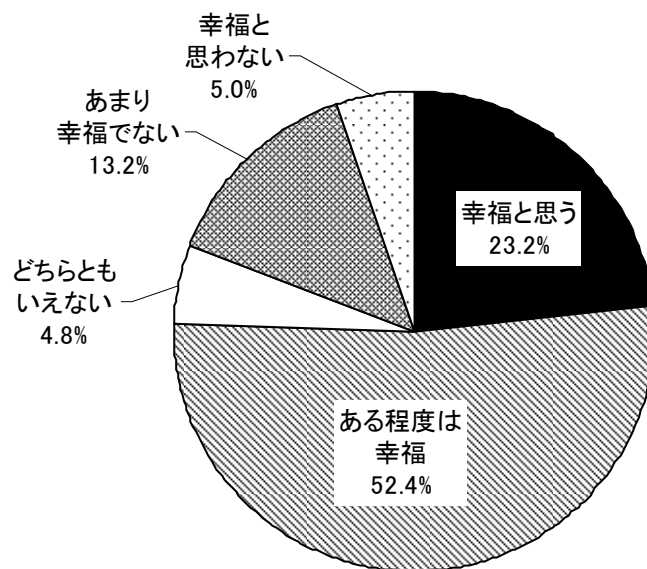


4. 日常生活の行動・意識と市民の幸福度の関連性について

【分析の趣旨】

- ・市民の幸福度について、設問 2-②-g 「家族全員が幸せに暮らしている」の回答傾向を分析する。
- ・同設問の属性別（区域、性別、年代、同居家族、居住年数）の分析を行う。
- ・市民の幸福度と日常生活の行動・意識との関連性について分析するため、相関分析を行う。

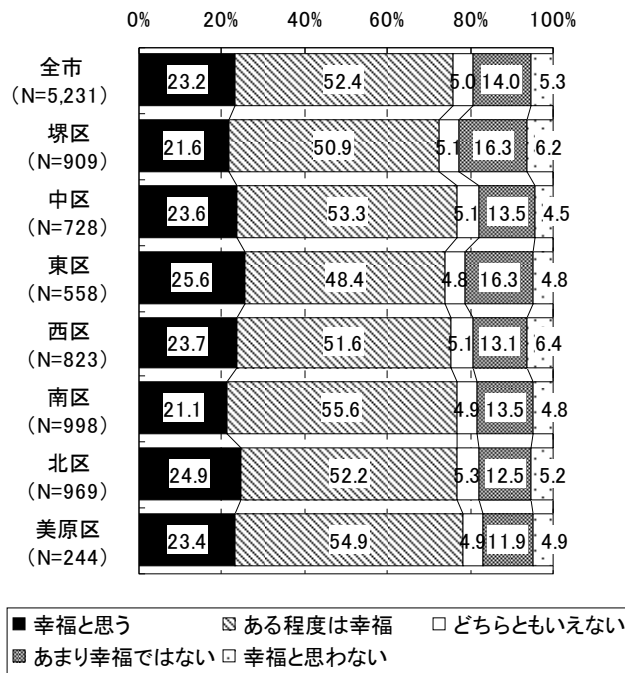
図表 III-45 「家族全員が幸せに暮らしている」割合



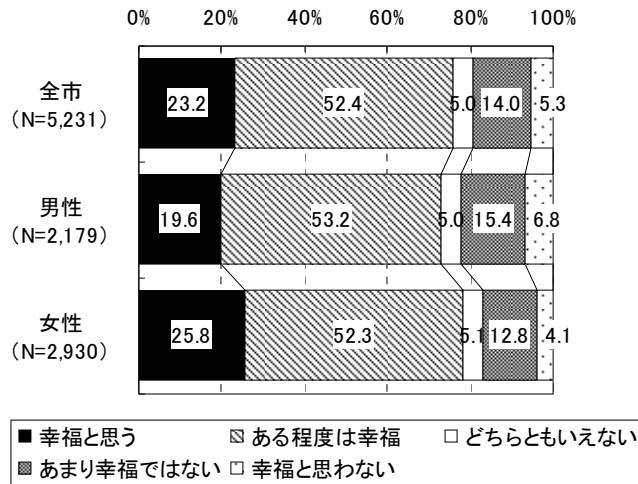
N=5,231

※無回答5.4%=297票/5,528票

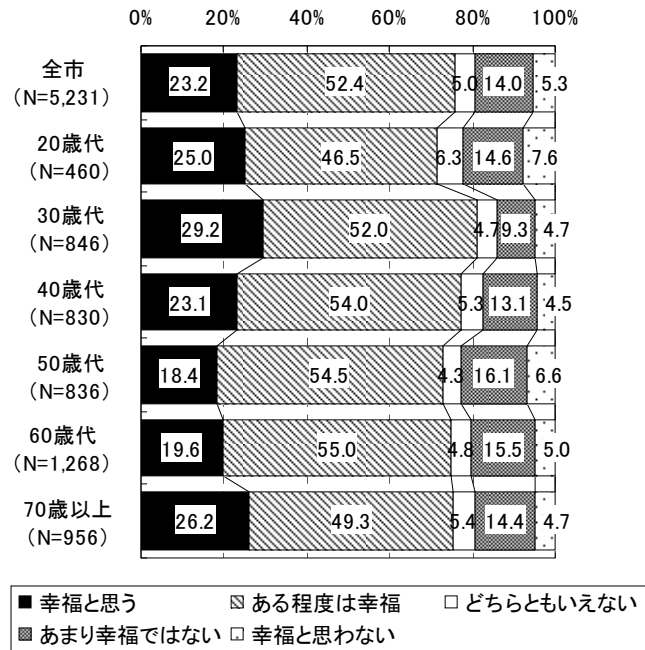
図表 Ⅲ-46 「家族全員が幸せに暮らしている」割合（区域別）



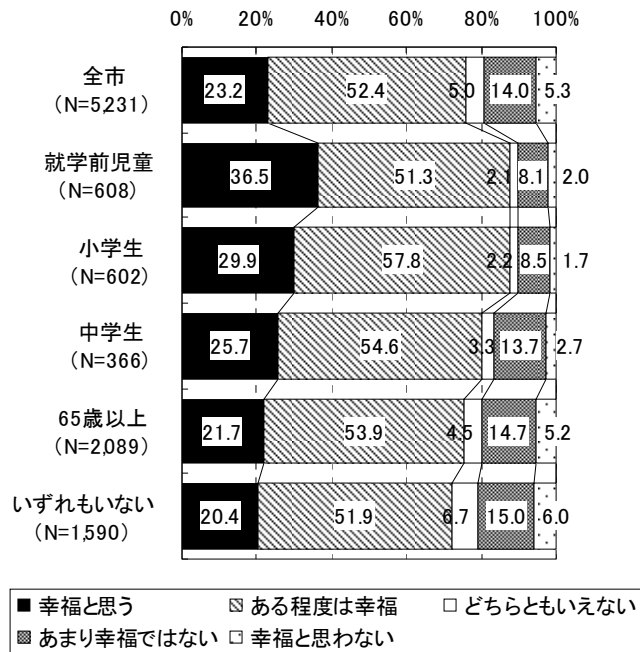
図表 Ⅲ-47 「家族全員が幸せに暮らしている」割合（性別）



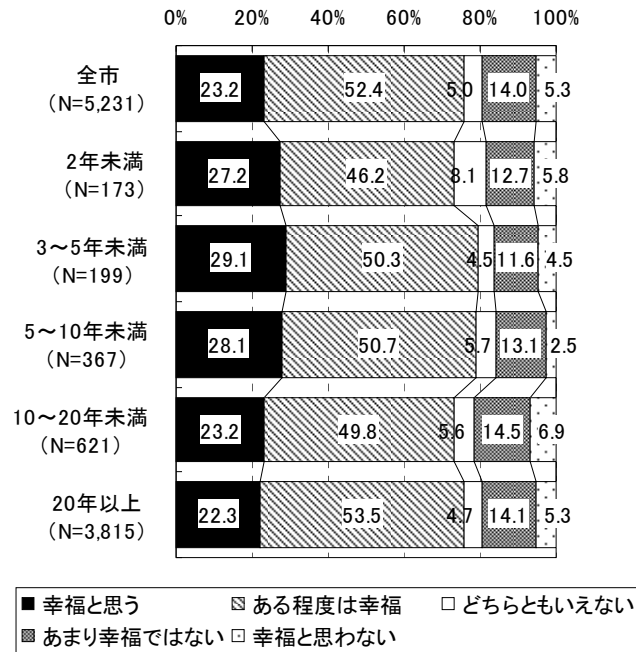
図表 Ⅲ-48 「家族全員が幸せに暮らしている」割合（年代別）



図表 Ⅲ-49 「家族全員が幸せに暮らしている」割合（同居家族別）



図表 Ⅲ-50 「家族全員が幸せに暮らしている」割合（居住年数別）



【属性別分析結果】

- ・市民の75%以上が「家族全員が幸せに暮らしている」と感じている。
- ・「家族全員が幸せに暮らしている」と感じているのは、30歳代、小学生以下の子どもがいる世帯が多い。

- ・全体では、「幸福と思う」「ある程度は幸福」を含め、75.6%の市民が幸福と感じている。一方で、「あまり幸福でない」「幸福と思わない」を含め、18.2%の市民が幸福と感じていない状況にある。
- ・区域別では、やや堺区において幸福と感じている割合が低い傾向にあるが、総じて全市と同等程度である。
- ・男性よりも女性の方がやや幸福と感じている割合が高い傾向にある。
- ・30歳代において幸福と感じている割合が高い傾向にある。
- ・小学生以下の子どもがいる世帯において幸福と感じている割合が高い傾向にある。
- ・堺市在住年数が3年～10年未満の世帯において幸福と感じている割合が高い傾向にある。

【個別項目との相関】

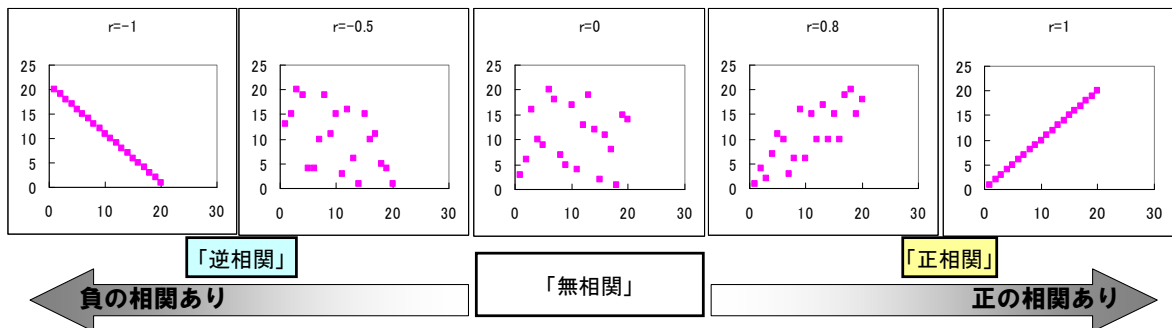
★「相関」の解説★

相関とは、二つのものの間に関連があり、類似性があること。これを統計学的指標として示すのが相関係数である。単位はなく、-1 から 1 の間の実数値をとる。

相関係数が 1 に近いとき、2 つの変数の間には「正の相関がある」といい、-1 に近ければ「負の相関がある」という。相関係数が 0 に近いとき、2 つの変数の相関は弱い。

また相関係数が 1 もしくは -1 となる場合、2 つの確率変数は線形従属の関係（散布図上で直線状に並ぶ関係）にある。

【相関関係と散布図】



【相関係数の求め方】

$$x = \{x_1 \ x_2 \ \dots \ x_n\}^{\mu}$$

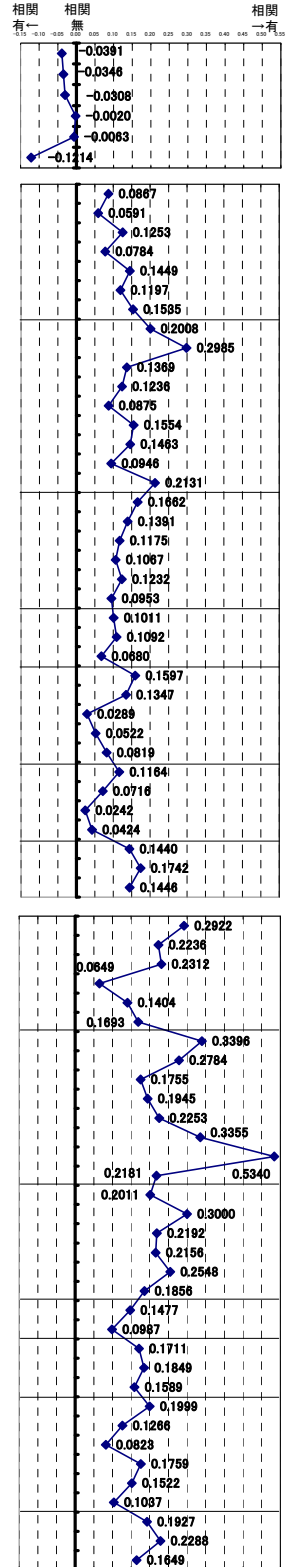
$$y = \{y_1 \ y_2 \ \dots \ y_n\} \quad \text{の相関係数 } \gamma^{\mu}$$

$$\gamma^{\mu} = \frac{(x_1 - \bar{x})(y_1 - \bar{y}) + \dots + (x_n - \bar{x})(y_n - \bar{y})}{\sqrt{(x_1 - \bar{x})^2 + \dots + (x_n - \bar{x})^2} \sqrt{(y_1 - \bar{y})^2 + \dots + (y_n - \bar{y})^2}}$$

図表 Ⅲ-51 「家族全員が幸せに暮らしている」という回答と個別項目との相関係数 一覧

「家族全員が幸せに暮らしている」という回答との相関		相関係数
設問		
【主要な日常生活・行動】		
問1-1-a	通勤・通学を含め、ほぼ毎日外出している(N=5,177)	-0.0391
問1-1-b	1年に1回以上、堺市内で音楽や美術などの芸術を鑑賞している(N=5,187)	-0.0346
問1-1-c	週1回以上、地元の商店街や商店(大手スーパーや百貨店以外)を利用している(N=5,272)	-0.0308
問1-1-d	通勤・通学に自家用車を利用している(N=5,096)	-0.0020
問1-1-e	通勤・通学にバスや電車などの公共交通を利用している	-0.0063
問1-1-f	災害などが起こった場合、避難所への行き方を知っている	-0.1214
【日常生活の活動・行動】		
①安全・安心		
問1-2-①-a	困っている人に気づいたら、声をかけている	0.0867
問1-2-①-b	地域で防災活動に取り組んでいる	0.0591
問1-2-①-c	家具の転倒防止に努めている	0.1253
問1-2-①-d	地域で子どもの見守りやパトロールなどを行っている	0.0784
問1-2-①-e	戸締りや侵入防止の対策を徹底している	0.1449
問1-2-①-f	いざというときに、食糧や医薬品などを備蓄している	0.1197
問1-2-①-g	食品の品質や安全性を確認している	0.1535
②暮らしの質		
問1-2-②-a	日頃から食事の栄養バランスに気を配っている	0.2008
問1-2-②-b	1日に1回は、家族と一緒に食事をとっている	0.2985
問1-2-②-c	日常的な診療などは、身近な「かかりつけ医」に行くようにしている	0.1369
問1-2-②-d	定期的に血圧や体重を測定し、自分自身の健康状態をチェックしている	0.1236
問1-2-②-e	サークル活動、芸術活動などの生涯学習や文化活動に取り組んでいる	0.0875
問1-2-②-f	自宅の周辺をいつもきれいに清掃している	0.1554
問1-2-②-g	緑を増やし、守ることに取り組んでいる	0.1463
問1-2-②-h	堺の歴史的なスポットを訪れている	0.0946
問1-2-②-i	相手の立場を考え、お互いの立場を認め合い、行動している	0.2131
③子育て・教育		
問1-2-③-a	近所の子どもたちに声をかけたり、注意したりしている	0.1662
問1-2-③-b	PTAなど子どもの教育に関する活動に参加・協力している	0.1391
問1-2-③-c	子ども会などの活動やイベントに参加・協力している	0.1175
問1-2-③-d	虐待に気づいたら、公的な相談機関などに通報するようにしている	0.1067
問1-2-③-e	子どもが毎朝、食事をとっている	0.1232
問1-2-③-f	子どもが毎日、読書をしている	0.0953
④産業振興		
問1-2-④-a	買い物は主に堺市内で済ませている	0.1011
問1-2-④-b	できる限り、地元で採れた食材・食品を食べている	0.1092
問1-2-④-c	堺の伝統産品(線香、刃物など)を購入、使用している	0.0680
⑤環境共生		
問1-2-⑤-a	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる	0.1597
問1-2-⑤-b	節電や省エネルギーに取り組んでいる	0.1347
問1-2-⑤-c	できる限り、バスや電車などの公共交通を使うようにしている	0.0289
問1-2-⑤-d	近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしている	0.0522
問1-2-⑤-e	買物の際は、買物袋を持参している	0.0819
⑥魅力・交流		
問1-2-⑥-a	遊びやレクリエーションは、主に堺市内で行っている	0.1164
問1-2-⑥-b	堺の歴史や文化資源について、市内外の人にその良さを広めている	0.0716
問1-2-⑥-c	海外の人たちと積極的に交流している	0.0242
問1-2-⑥-d	国際協力・国際貢献の活動に参加している	0.0424
⑦まちづくり		
問1-2-⑦-a	広報紙などを通じて、堺の取り組みなどを情報収集している	0.1440
問1-2-⑦-b	まつりなどの地域のイベントに参加・協力している	0.1742
問1-2-⑦-c	身近な地域の会合や活動に参加・協力している	0.1446
①安全・安心		
問2-①-a	困ったときに、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいる	0.2922
問2-①-b	突然のけがや病気の場合、病院での受け入れ体制や搬送体制は十分である	0.2236
問2-①-c	堺では働く意欲がある人たちの雇用が確保されている	0.2312
問2-①-d	近隣の治安について不安である※	0.0649
問2-①-e	堺は災害に強いまちである	0.1404
問2-①-f	地震などの災害があったとき、混乱せず避難できそうだ	0.1693
②暮らしの質		
問2-②-a	自由や人権が守られ、個性を生かして、自分らしく生活することができる	0.3396
問2-②-b	年齢や性別にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っている	0.2784
問2-②-c	堺は文化・芸術活動をしやすいまちである	0.1755
問2-②-d	堺は図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている	0.1945
問2-②-e	自分の知識や教養を発揮することができる場がある	0.2253
問2-②-f	家計の状況に余裕がある	0.3355
問2-②-g	余暇が充実している	0.5340
問2-②-h	将来に対して不安を感じる※	0.2181
③子育て・教育		
問2-③-a	子育てに対して不安や負担を感じる※	0.2011
問2-③-b	子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいる	0.3000
問2-③-c	地域の人々が子どもの教育によく関わっている	0.2192
問2-③-d	教育環境が良いまちである	0.2156
問2-③-e	子育てがしやすいまちである	0.2548
問2-③-f	放課後などにおける子どもの安心・安全な居場所が確保されている	0.1856
④産業振興		
問2-④-a	近くに買い物できる場所が充実している	0.1477
問2-④-b	堺の伝統産品のPRは十分にされている	0.0987
⑤環境共生		
問2-⑤-a	堺では現在、環境にやさしいまちづくりが進んでいる	0.1711
問2-⑤-b	堺の企業・事業者は環境に配慮した取り組みを行っている	0.1849
問2-⑤-c	地球環境を意識した生活スタイルを実践している人が多い	0.1589
⑥魅力・交流		
問2-⑥-a	休日に友人や家族と共に楽しく過ごすことができる場所や施設が揃っている	0.1999
問2-⑥-b	日々の暮らしや仕事において堺市内の移動は便利である	0.1266
問2-⑥-c	堺のまちの中心部はにぎわっている	0.0823
問2-⑥-d	堺は文化的な魅力や愛着を感じる都市である	0.1759
問2-⑥-e	堺の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができる	0.1522
問2-⑥-f	堺には、海外の人たちが訪れたくなる魅力があるスポットがある	0.1037
⑦まちづくり		
問2-⑦-a	地域でのさまざまな活動が活発である	0.1927
問2-⑦-b	地域における人と人とのつながりが豊かである	0.2288
問2-⑦-c	自分が住んでいる区の特徴を知っている	0.1649

0.2以上



【分析コメント】

・「家族全員が幸せに暮らしている」という回答は、「暮らしの質」や「子育て・教育」に関する意識との相関が大きい。

- ・日常生活の活動・行動では、食事の栄養バランスへの気遣いや家族と一緒に食事をとる行動との相関がある。また、相手の立場を考えながらの行動との相関がある。
- ・日常生活の意識では、特に余暇の充実との相関が高い。全般的に暮らしの質の高さや子育て・教育に関する環境に関する意識との相関がある。
- ・「家族全員が幸せに暮らしている」という回答との相関係数が高い（相関が大きい）項目の傾向として、困ったときに相談に乗ってくれる人の存在や、地域の子育てへの関わりが存在しているなど、家族や地域など周囲の人とのつながりに関する項目となっている。

IV. 調査の精度

本調査は標本調査であるため、ここで得た調査結果から母集団の意識を推定している。調査の精度をみるため、5%区切りの主要な測定値について、信頼区間1/2幅を算出すると以下のとおりである。

$$1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

P：標本の推定値（%）

N：母集団数（平成22年5月末の20歳以上の人口総数 690,032）

n：標本数（有効回答数 5,528）

（注）母集団数（N）は、平成22年5月末の住民基本台帳と外国人登録における20歳以上人口の合計。

図表 信頼度95%における主要な測定値（%）の信頼区間の1/2幅

測定値 (%)	1/2幅							
	全市	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区
50	1.31	3.16	3.53	4.01	3.32	3.03	3.05	6.15
45 55	1.31	3.14	3.52	3.99	3.31	3.01	3.03	6.12
40 60	1.29	3.09	3.46	3.93	3.26	2.97	2.98	6.02
35 65	1.25	3.01	3.37	3.82	3.17	2.89	2.91	5.86
30 70	1.20	2.89	3.24	3.67	3.05	2.78	2.79	5.63
25 75	1.14	2.73	3.06	3.47	2.88	2.62	2.64	5.32
20 80	1.05	2.53	2.83	3.21	2.66	2.42	2.44	4.92
15 85	0.94	2.25	2.52	2.86	2.37	2.16	2.17	4.39
10 90	0.79	1.89	2.12	2.41	1.99	1.82	1.83	3.69
5 95	0.57	1.38	1.54	1.75	1.45	1.32	1.33	2.68

（参考）たとえば、問1-1 日常生活の主要な活動・行動のうち『通勤・通学を含め、ほぼ毎日外出している』の「当てはまる」が72.3%となっている。この表により、標本測定値70%の場合の信頼区間の1/2幅は全市で1.20である。このことは、調査を100回行えば、95回までは72.3±1.20%の人が「当てはまる」と答えると推定されることを意味する。

平成 22 年度市民意識調査報告書

平成 23 年 1 月

編集：堺市財政局企画部

発行：堺市

堺市行政資料番号：1-C 1-10-0343